

日本育種学会 第121回講演会プログラム
2012年春季 宇都宮大学

3月28日 (水)	午後	幹事会 15:00-18:00 (農学部 14号館中棟西側2F 大会議室)						
		第1会場 教育D棟 2101教室	第2会場 教育E棟 2102教室	第3会場 教育F棟 2103教室	第4会場 教育F棟 2204教室	第5会場 教育F棟 2104教室	第6会場 教育A棟マルチ メディア教室1	第7会場 教育A棟マルチ メディア教室2
3月29日(木)	午前	ゲノム解析・ DNAマーカー 101-108 10:00-12:00	ゲノム解析・ DNAマーカー 201-208 10:00-12:00	品種育成・ 育種法 301-308 10:00-12:00	抵抗性・耐性 401-408 10:00-12:00	発生 501-508 10:00-12:00	遺伝資源 601-608 10:00-12:00	変異創成 701-708 10:00-12:00
	午後	総会・学会賞授賞式 13:30-14:30 (農学部 3101教室)						
		学会賞受賞講演 14:45-17:00 (農学部 3101教室)						
		学会賞 14:45-15:20 ◎イネ実験系統群の作出とゲノミクス研究における利用 吉村 淳 (九州大学大学院農学研究科) 15:20-15:55 ◎高品質「安代りんどう」ブランド品種群の育成と海外展開 安代リンドウ開発合同育種チーム (八幡平市花き研究開発センター)						
		奨励賞 16:10-16:35 ◎アブラナ科植物における分子遺伝学研究基盤の構築と育種学的研究 諏訪部 圭太 (三重大学大学院生物資源学研究科) 16:35-17:00 ◎穀物における選抜遺伝子および農業形質関連遺伝子の解析手法の開発 山崎 将紀 (神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター)						
		懇親会 17:30-19:30 (大学会館 生協食堂)						

3月30日(金)	午前	ポスター奇数番号 9:00-10:30 (体育館)						
		ポスター偶数番号 10:30-12:00 (体育館)						
	午後	第1会場 教育D棟 2101教室	第2会場 教育E棟 2102教室	第3会場 教育F棟 2103教室	第4会場 教育F棟 2204教室	第5会場 教育F棟 2104教室	第6会場 教育A棟マルチ メディア教室1	第7会場 教育A棟マルチ メディア教室2
		ゲノム解析・ DNAマーカー 109-120 13:00-16:00	ゲノム解析・ DNAマーカー 209-220 13:00-16:00	品種育成・ 育成法 309-317 13:00-15:15	抵抗性・耐性 409-420 13:00-16:00	発生 509-517 13:00-15:15	遺伝資源 609-613 13:00-14:15	変異創成 709-714 13:00-14:30
				育種情報・ データベース 318-320 15:15-16:00			収量・ バイオマス 614-618 14:15-15:30	品質成分 715-720 14:30-16:00
							増殖・生殖 518-520 15:15-16:00	
					グループ 研究集会 (1)	グループ 研究集会 (2)		グループ 研究集会 (3)

口頭発表講演方法

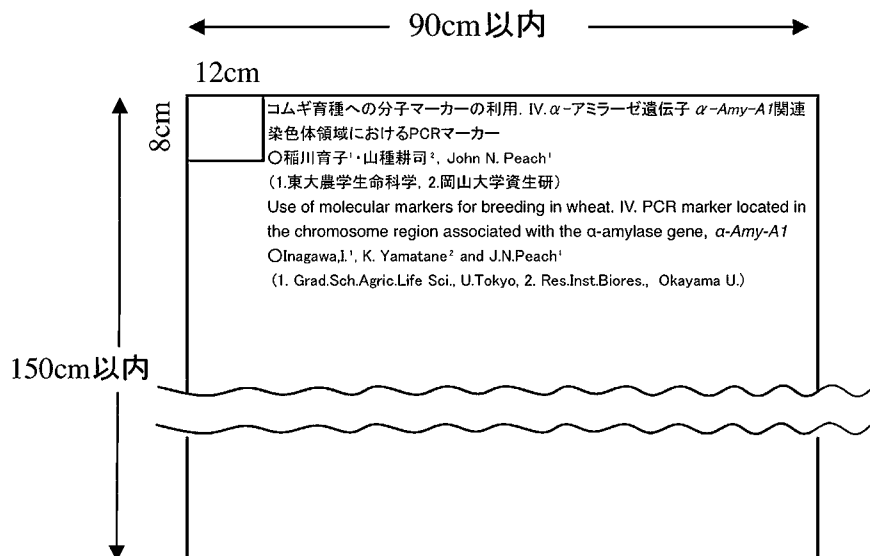
口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。大会当日は試写室に試写用のプロジェクターを用意いたします。発表者はあらかじめ余裕を持って試写を行い、スライドのレイアウトや動作を確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ず確認してください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン（Windows XP または 7, Power Point）を用意しますので、**データのバックアップを入れた USB メモリを必ず準備してください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA（1024×768 ピクセル）に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。この形状と異なる場合、Mac をご使用になる場合は変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次次講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の交替の際に、モニターケーブルの記号（A, B, C, D）に合わせて係員がモニター切替器を操作します。発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法を確認してください。
8. 試写室にはスタッフが常駐しています。パソコンの設定、予備のパソコンの貸し出しにつきましては試写室のスタッフにお申し付けください。

ポスター作成要領

1. ポスターは横 90cm×タテ 150cm に収まる大きさを作成してください。
2. ポスターの上部の左側にはポスター番号を貼付ける余白（横 12cm×タテ 8cm）を残してください。
3. ポスターの上部には、オンライン登録と同一の演題名、著者名、所属を 48 ポイント以上の文字サイズを使い、日本語、英語を併記してください。
4. 図表のタイトル、説明文は英語で表記してください。
5. ポスターは 3 月 29 日（木）の 10：00～13：00 までに指定場所に貼りつけてください。発表後のポスターはできるだけ会期中貼ったままにして、3 月 30 日（金）16：00 までに撤去してください。



その他、ご不明の点は大会運営委員会（Js121@utsunomiya-u.ac.jp）にお問い合わせください。

講演番号・座長一覧

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
	教育D棟 2101教室	教育E棟 2102教室	教育F棟 2103教室	教育F棟 2204教室	教育F棟 2104教室	教育A棟マルチ メディア教室1	教育A棟マルチ メディア教室2
3月29日 午前	101-104 氷見英子 10:00-11:00	201-204 藤井壮太 10:00-11:00	301-304 田中淳一 10:00-11:00	401-404 河野雄飛 10:00-11:00	501-504 佐藤豊(名大) 10:00-11:00	601-604 笹沼恒男 10:00-11:00	701-704 高原学 10:00-11:00
	105-108 渡辺正夫 11:00-12:00	205-208 加賀秋人 11:00-12:00	305-308 神野裕信 11:00-12:00	405-408 松元 哲 11:00-12:00	505-508 小松田隆夫 11:00-12:00	605-608 加藤鎌司 11:00-12:00	705-708 白澤健太 11:00-12:00
3月30日午前	ポスター発表9:00-12:00						
3月30日 午後	109-112 北柴大泰 13:00-14:00	209-212 執行正義 13:00-14:00	309-312 諏訪部圭太 13:00-14:00	409-412 雑賀啓明 13:00-14:00	509-512 蝶野真喜子 13:00-14:00	609-612 千田峰生 13:00-14:00	709-712 鷺田治彦 13:00-14:00
	113-116 石本政男 14:00-15:00	213-216 布目 司 14:00-15:00	313-316 磯部祥子 14:00-15:00	413-416 安井 秀 14:00-15:00	513-516 村井耕二 14:00-15:00	613-616 中村郁郎 14:00-15:00	713-716 川勝泰二 14:00-15:00
	117-120 久保貴彦 15:00-16:00	217-220 松村英生 15:00-16:00	317-320 岩田洋佳 15:00-16:00	417-420 藤本 優 15:00-16:00	517-520 佐々英徳 15:00-16:00	617-620 内藤 健 15:00-16:00	717-720 古谷規行 15:00-16:00

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。

1日目(3月29日) 午前 口頭発表プログラム				
3月29日	第1会場(教育D棟2101教室)	第2会場(教育E棟2102教室)	第3会場(教育F棟2103教室)	第4会場(教育F棟2204棟教室)
	◆座長 水見英子(岡山大学植物研)	◆座長 藤井杜太(京大院理)	◆座長 田中淳一(農研機構作物研)	◆座長 河野雄飛(九州沖縄農業センター)
10:00	101 レーザーマイクロダイセクションによるアブラナ科乳頭細胞の単離法の構築 ☆松田智貴1・大坂正明2・藤岡智明1・坂園聡美2・高橋宏和3・中園幹生3・岩野恵4・高山誠司4・鈴木剛5・渡辺正夫2・諏訪部圭太1(1. 三重大院生物資源2. 東北大院生命科学3. 名大院生命農学4. 奈良先端大バイオサイエンス5. 大阪教育大自然)	201 コムギ・エギロブス属植物のミトコンドリアゲノムの解析1. チモフェービコムギの細胞質を持つ置換系統のミトコンドリアゲノム ☆辻村真衣1・富岡関子1・森直樹2・寺地徹1(1. 京都産大総合生命科学2. 神戸大院農学)	301 新形質のダダチャマメ系エダマメ用ダイズ品種の育成に関する研究 ○阿部利徳(山形大学農学)	401 イネ品種アソミノリイのイネ白葉枯病抵抗性1.イネ白葉枯病抵抗性遺伝子Xa17とは他の抵抗性遺伝子 ○田浦悟1・河邊弘太郎1・一谷勝之2(1. 鹿大遺伝子実験施設2. 鹿大農)
10:15	102 LM-NGS法によるアブラナ科乳頭細胞のトランスクリプトーム解析 ☆大坂正明1・松田智貴2・藤岡智明2・坂園聡美1・高橋宏和3・中園幹夫3・岩野恵4・高山誠司4・鈴木剛5・諏訪部圭太2・渡辺正夫1,6(1. 東北大学大学院生命科学研究所2. 三重大学生物資源学部3. 名古屋大学大学院生命農学研究科4. 奈良先端科学技術大学院大学5. 大阪教育大学自然研究専攻6. 東北大学理学部)	202 アズキのオルガネラゲノム ☆内藤健1,2・加賀秋人1・D. Vaughan1,3・友岡憲彦1(1. 農業生物資源研究所2. JST さきがけ研究員3. 国際連合食糧農業機関)	302 水稲新品種「三重23号」の育成 ○山川智大1・宮本啓一2・松井未来生3・村上高敏4・松本恵悟1・川上拓5(1. 三重農研2. 津農改3. 松阪農改4. 桑名農改5. 伊賀農改)	402 ウイロイド(PSTVd)のsiRNAs産生形質転換タバコを用いた接ぎ木における穂木のPSTVd抵抗性 ☆葛西厚史・佐野輝男・原田竹雄(弘前大学農学生命科学部)
10:30	103 重要形質の遺伝子座を迅速に同定できるMutMap法のイネゲノム育種への適用 ☆阿部陽1・吉田健太郎2・高木宏樹2・小杉俊一2・夏目俊2・M. Tamiru2・落合祐介2・佐々木力1・寺内良平2(1. 岩手県農業研究センター2. 財団法人岩手生物工学研究センター)	203 ダイズの茎頂花房長に関するQTL解析 ☆山口直矢1・佐山貴司2・笹間博子2・石本政男2・三好智明1(1. 道総研十勝農試2. 生物研)	303 カドミウム汚染水田を修復するファイトレメディエーション用イネ品種の育成 2 カドミウム高集積品種(WRC28,30)から誘発された難脱粒変異系統の選抜 ☆安部匡1・岩崎行玄2・倉俣正人1・井倉将人1・山本敏央3・矢野昌裕3・石川寛1(1. 農環研2. 福井県立大3. 生物研)	403 キヤベツ萎黄病抵抗性遺伝子 <i>Foc-Bo1</i> の同定とファインマッピング ☆清水元樹1・Z. Pu1,2・富田寛也1・藤本龍1・松元哲3・林武司4・張艶菊2・岡崎桂一1(1. 新潟大学院自然科学2. 中国東北農業大学3. 農研機構・野菜茶研4. 農研機構・中央農総研)
10:45	104 イネ品種間交雑後代における QTL-seq 法を用いた迅速な遺伝子座同定 ☆高木宏樹1,2・阿部陽1,3・吉田健太郎2・夏目俊2・寺内良平2(1. 岩手大学大学院連合農学研究科2. 岩手生物工学研究センター3. 岩手県農業研究センター)	204 ダイズの分枝数と育性遺伝子との関係性 ☆佐山貴司1・小松邦彦2・山口直矢3・笹間博子1・鈴木千賀3・三好智明3・田中義則3・石本政男1(1. 生物研2. 北農研3. 道総研十勝農試)	304 コムギ萎縮病の被害が少なく製めん適性に優れたコムギ新品種「きたさちほ」 ○神野裕信1・吉村康弘1・西村努2・小林聡1・佐藤三佳子1・来嶋正朋1・足利奈奈1・中道浩司3・柳沢朗2・池永充伸2・荒木和哉3・谷藤健3・樋浦里志4・田引正5(1. 道総研北見農試2. 道総研中央農試3. 道総研十勝農試4. 北海道オホーツク総合振興局5. 農研機構北農研センター)	404 <i>Brassica oleracea</i> 根こぶ病抵抗性遺伝子の集積による抵抗性育種 ☆富田寛也1・清水元樹1・藤本龍1・M. A. U.Doullah1・松元哲2・岡崎桂一1(1. 新潟大学院自然科学2. 農研機構・野菜茶研)
	◆座長 渡辺正夫(東北大院生命科学)	◆座長 加賀秋人(農業生物資源研究所)	◆座長 神野裕信(道総研北見農試)	◆座長 松元 哲(農研機構・野菜茶研)
11:00	105 バーコードシステムを用いた大規模実験系統群の表現型調査および遺伝資源管理 ○宇津志博恵1・高木宏樹1・阿部陽2・吉田健太郎1・寺内良平1(1. 岩手生物工学研究センター2. 岩手県農業研究センター)	205 イネの多収品種間における光合成関連形質の比較遺伝解析 ○高井俊之・荒井裕見子・岩澤紀生・吉永悟志・近藤始彦(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所)	305 「春よ恋」準同質遺伝子系統における3Bおよび5A染色体に座乗する赤かび病抵抗性QTLの効果 ○田中由紀・席田淳史・筒井一郎・太田宇香(ホクレン農業総合研究所)	405 イネにおける病害抵抗性シグナル伝達経路のジスルフィドプロテオーム解析 ○森野和子・木水真由美・矢頭治(農研機構 中央農研 北陸)
11:15	106 コムギのフラボノイド系色素合成に関与するanthocyanidin synthase (ANS)遺伝子について ☆水見英子・前川雅彦(岡山大学植物研)	206 マイクロアレイ技術を用いたサトウキビ黒穂病抵抗性関連形質のQTL解析 ☆榎宏征1・西村哲1・木村達郎1・島田武彦1・都築祥子1・服部太郎2・石川葉子2・境垣内岳雄2・寺内方丈2(1. トヨタ自動車(株)FP部 バイオラボ2. (独)九州沖縄農業研究センター バイオマス資源作物開発チーム)	306 日本初の二条裸モチ性オオムギ品種「もっちりぼし」の育成 荒井正一・○木原誠・金谷良市・保木健宏・山田真司(サッポロビール(株)バイオ研究開発部)	406 四元配置分散分析による人工接種下におけるチャ赤焼病の病斑拡大に及ぼす要因の解析 ○池田奈実子1・吉田克志1・山下桃子1・桐間智也2・松永明子1(1. 野菜茶研2. カワサキ機工)
11:30	107 オオムギ皮性遺伝子Nud 座周辺600kbの配列及び近縁種におけるNud ホモログの解析 ☆湯尾崇央1・佐藤友彦2・金森裕之3・松本隆3・武田真1(1. 岡山大学資源植物科学研究所2. 香川大学農学部3. 生物資源研究所)	207 マイクロアレイとQTLマッピングを組み合わせたイネの初期成長性に関するQTLの同定 ○矢野恵司1・高師知紀2・永松志朗1・小嶋美紀子3・榎原均3・北野英己1・松岡信1・安益公一郎1(1. 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター2. ホンダ・リサーチ・インスティテュート ジャパン3. 理研植物科学研究センター)	307 病虫害複合抵抗性を持ち高温登熟性に優れた水稲新品種「はるもに」の育成 ○田村克徳1・坂井真1・片岡知守1・田村泰章1・岡本正弘1・梶亮太2・溝淵律子3(1. 農研機構九州農研2. 農研機構東北農研3. 生物研)	407 Marker assisted selectionによる複合病害抵抗性を集積したテンサイの育成 ☆田口和憲・岡崎和之・黒田洋輔・高橋苗之(農研機構 北海道農業研究センター)
11:45	108 イネソマクロールバリエーションの全ゲノム塩基配列解析. VI. 挿入・欠失の検出 ○宮尾安藝雄・中込マリコ・金森裕之・佐々木晴美・片寄裕一・高橋章・松本隆・廣近洋彦(農業生物資源研究所)	208 ニホンナシにおける収穫期を始めとする果実形質のQTL解析 ○山本俊哉1・寺上伸吾1・高田教臣1・西尾聡悟1・西谷千佳子1・國久美由紀1・岩田洋佳2・林武司3・坂井章浩4・尾上典之1・齋藤寿広1(1. 農研機構果樹研究所2. 東大農学生命科学3. 農研機構中央農業総合研究センター4. 鳥取大学農学部)	308 クワシロカイガラムシ抵抗性選抜マーカーを用いた病虫害複合抵抗性チャ系統「枕崎35号」の育成 ☆谷口郁也1・吉田克志1・萬屋宏1・田中淳一2・根角厚司1・荻野暁子1・佐波哲次1(1. 農研機構野菜茶研2. 農研機構作物研)	408 Bulk Segregant Analysisによる日本在来品種延岡坊主小麦における新規コムギ赤かび病抵抗性遺伝子の探索 ☆近藤和佳・坂智広(横浜市大木原生研)

1日目 (3月29日) 午前 口頭発表プログラム						
第5会場 (教育F棟2104教室)		第6会場 (教育A棟マルチメディア教室1)		第7会場 (教育A棟マルチメディア教室2)	3月29日	
◆座長 佐藤 豊 (名大生命農学)		◆座長 笹沼恒男 (山形大学)		◆座長 高原学 (農研機構・畜産草地研)		
501	オオムギ種子休眠性 <i>Qsd1</i> の同定 ○佐藤和広1・武田和義1・金森裕之2・松本隆2・小松田隆夫2(1. 岡大植物研2. 生物研)	601	カザフスタンにおけるメロン遺伝資源の収集と調査 ☆田中克典1・杉山充啓2・A. Anna3・M. Zharas4・S. Tian5・A. Sergey3・加藤鎌司6(1. 弘前大人文2. 農研機構野菜茶研3. パビロフ研究所4. カザフジャガイモ野菜研5. カザフイネ調査研6. 岡山大院自然)	701	スイートソルガム (<i>Sorghum bicolor</i> L. Moench)のジベレリン関連変異体の表現系と遺伝学的解析 ☆R. Ordonio1・畠山麻子1・大前梢2・春日重光3・山村卓也4・徳永毅4・北野英巳2・松岡信2・佐塚隆志2(1. 名古屋大学大学院生命農学研究科2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター3. 信州大学農学部AFC4. 株式会社アースノート)	10:00
502	ストリゴラクトンとサイトカイニンの拮抗作用によるイネのメソコチル伸長制御 ☆胡仲遠1,2・山内卓樹2・楊景華3・軸丸裕介4・榎田(岡山)智子5・市川裕章5・張明方3・高牟禮逸郎6・長村吉晃5・堤伸浩1・山口信次郎4,7・経塚淳子1・中國幹生2(1. 東大農学生命科学2. 名大院生命農学3. 浙江大学農学4. 理化学研究所PSC5. 農業生物資源研究所6. 北大農院7. 東北大院農学応用生命科学)	602	トルコ南部の自生地での調査から明らかとなった野生二倍性および四倍性コムギの種子休眠性と発芽適応戦略 ○大田正次1・森直樹2・苅安理恵1・山田ちなつ1・H. Ozkan3(1. 福井県大生物資源2. 神戸大学農学研究科3. トルコ・チュクロワ大学農学部)	702	トマト日持ち性分子育種へのマイクロトムTILLINGプラットフォームの利用可能性 岡部佳弘1・浅水恵理香1・有泉亨1・白澤健太2・田畑哲之2・〇江面浩1(1. 筑波大生命環境2. かずさDNA研)	10:15
503	一過的な高温処理による胴割れ米の発生機構 ☆大西孝幸・関根大輔・木下哲(奈良先バイオサイエンス)	603	バナにおける乾燥応答性R3R3-MYBの遺伝的多様性とその機能解析 上祐暁1・松田修一2・杉山善彦1・〇赤田辰治1(1. 弘大農学生命科学2. 帯広畜産大学)	703	メタリックな輝きを持つ特殊花色カーネーションの作出とイオンビームによる色調の拡大に伴う色素の変化 ☆岡村正愛1・中山真義2・長谷純宏3(1. キリンホールディングス・フロンティア技術研2. 農研機構・花き研3. 原子力機構・量子ビーム応用研究部門)	10:30
504	イネの胚乳発生・サイズを制御する父・母ゲノムの効果 ☆関根大輔1・大西孝幸1・古海弘康 2・倉田のり2・木下哲1(1. 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科2. 国立遺伝学研究所 系統生物研究センター)	604	Genetic mapping of quantitative trait loci (QTLs) controlling allelopathic characteristics in sorghum ☆T. Shehzad・奥野員敏(筑波大生命環境)	704	内在性レトロトランスポゾン <i>LORE1</i> によるマメ科モデル植物ミヤコグサの大規模遺伝子タギング系の開発 ☆深井英吾1・征矢野敬1・梅原洋佐1・中山しのぶ2・平川英樹2・田畑哲之2・佐藤修正2・林誠1(1. 生物研2. かずさDNA研)	10:45
◆座長 小松田隆夫 (生物研)		◆座長 加藤鎌司 (岡山大院自然)		◆座長 白澤健太 (かずさDNA研)		
505	DEX 誘導系をもちいたイネ <i>FON2-LIKE CLE PROTEIN1 (FCP1)</i> の機能解析 ☆大森良弘・平野博之(東大, 院理)	605	オオムギ属における <i>Hordoin</i> 遺伝子の種間変異に関する解析 ☆寺沢洋平・R. Shaikh・高田兼則・池田達哉(近中四農研)	705	ムギ類と10種の <i>Pennisetum</i> 属植物の交雑初期胚における染色体脱落 松本直也1・〇石井孝佳2・田中裕之1・エリタエブアミンE. 3・辻本壽3(1. 鳥取大学大学院農学研究科2. 鳥取大学大学院連合農学研究科3. 乾燥地研究センター)	11:00
506	イネの胚形成におけるETTIN/ARF転写因子の機能解析 ☆梶井沙紀・佐藤豊(名大生命農学)	606	アジアのペニバナの遺伝的多様性及び山形県在来品種「最上紅花」の系統的起源 ○笹沼恒男・木村薫・和田慶子・阿部利徳(山形大農)	706	異種染色体の関係を調べるためのコムギ染色体添加系統の育成 ☆趙晨佑1・森玉陽介2・石井孝佳1・岸井正浩3・田中裕之2・エリタエブアミンE.4・辻本壽4(1. 鳥取大学大学院連合農学研究科2. 鳥取大学大学院農学研究科3. 横浜市立大学木原生物学研究所植物遺伝資源科学部門4. 乾燥地研究センター)	11:15
507	小穂の着生パターンが異常となったイネ突然変異体の表現型の解析 ☆佐藤大輔1・鳥羽大陽1・村井正之2・平野博之1(1. 東大 院理2. 高知大 農)	607	形態, SSR, 並びにWGSによるオーストラリアの野生イネ系統分化程度の評価 ☆大塚健太1・小林雄1・田中克典1・一谷勝之2・中村郁郎3・佐藤洋一郎4・佐藤雅志5・吉田健太郎6・夏目俊6・小杉俊一6・寺内良平6・石川隆二1(1. 弘前大学農学生命科学部2. 鹿児島大学農学部3. 千葉大学大学院園芸農学研究科4. 総合地球環境学研究所5. 東北大学大学院生命科学研究科6. (財)岩手生物工学研究センター)	707	組換えイネを用いた澱粉の不溶性、結晶性に関与する分子構造の解明 ○藤田直子1・花城勲2・樋口利幸2・中村保典1,3(1. 秋田県大生物資源2. 鹿児島大農学3. 秋田県大研究地域貢献)	11:30
508	非典型的bHLHタンパク質PGL2は典型的bHLHタンパク質APGとの相互作用を通じてイネの穀粒長と穀粒重の制御に関与する D. Heang・〇佐々英徳(千葉大園)	608	耐乾性コムギ育種のための野生種タルホコムギの遺伝資源の利用 Q. Sohail・A. Eltayeb・☆辻本壽(鳥取大乾燥地研)	708	イネ <i>sugary-2</i> 変異体種子胚乳における澱粉及び可溶性グルカンの特徴 ☆中神毅1・吉原弘貴1・佐藤光2・藤田直子1・中村保典1,3(1. 秋田県大生物資源2. 九州大農学研究科3. 秋田県大研究地域貢献)	11:45

2日目(3月30日)午後 口頭発表プログラム

3月30日	第1会場(教育D棟2101教室)	第2会場(教育E棟2102教室)	第3会場(教育F棟2103教室)	第4会場(教育F棟2204棟教室)
	◆座長 北柴大泰(東北大院・農学)	◆座長 執行正義(山口大学農学部)	◆座長 諏訪部圭太(三重大生物資源)	◆座長 緒賀啓明(生物研)
13:00	109 ダイズの一英内粒数に関するQTL解析 ○小松邦彦1・高橋将一2・佐山貴司3・大木信彦2・石本政男3(1. 北農研2. 九州農研3. 生物研)	209 リンドウ花色識別DNAマーカーの開発と育種への利用 ☆中塚貴司1・山田恵理1・齋藤美沙1・日影孝志2・中里崇3・星伸枝3・藤原一道3・西原昌宏1(1. 岩手生工研セ2. 八幡平市花き研セ3. 岩手農研セ)	309 日本水稲品種の育種選抜において出穂期QTLの影響は排除できるか ☆堀清純1・片岡知守2・三浦清之3・山口誠之4・坂紀邦5・中原孝博6・春原嘉弘7・江花薫子1・矢野昌裕1(1. 生物研2. 農研機構九州農研3. 農研機構中央農研北陸4. 農研機構東北農研5. 愛知県農試6. 宮崎県農試7. 農研機構作物研)	409 インド型品種ADR52に由来するトイロウンカ抵抗性遺伝子 <i>BPH25</i> と <i>BPH26</i> に関する遺伝子集積系統の育成 ○安井秀1・藤田大輔2・屋良朝紀1・吉村淳1(1. 九大院農2. 国際イネ研究所)
13:15	110 New Rice for Africa (NERICA)品種の出穂性を支配するQTLの同定 ☆小出陽平1.2・田中(川崎)顕子1.3・柳原誠司1・福田善通1(1. 国際農林水産業研究センター2. 日本学術振興会特別研究員PD3. 鳥取大連農)	210 国産ダイズ品種に利用可能なSNPマーカーの開発 ○加賀秋人・清水武彦・渡辺啓史・金森弘之・片寄裕一・石本政男(生物研)	310 分離集団における量的形質分布を両親のゲノムワイドマーカー遺伝子型から予測する・ニホンナシデータへの適用 ○岩田洋佳1・寺上伸吾2・高田教臣2・澤村豊3・林武司4・山本俊哉2(1. 東大農学生命科学2. 農研機構果樹研3. 農研機構4. 農研機構中央農研)	410 トイロウンカ抵抗性遺伝子 <i>BPH25</i> と <i>BPH26</i> に関する近似同質遺伝子系統ならびに遺伝子集積系統の日本採集トイロウンカ系統に対する抵抗性反応 ☆モーローライン1・松村正哉2・吉村淳1・安井秀1(1. 九大院農2. 九州沖縄農業研究センター)
13:30	111 赤外線サーモグラフィーを用いたイネ葉面温度に関するQTLのマッピング ☆近藤勝彦1・一家崇志2・高井俊之3・セタ高也1・矢野昌裕1・山本敏夫1(1. 農業生物資源研究所2. 静岡大農学部3. 作物研)	211 イネジャポニカ、インディカ間で有意に発現量に差がみられる遺伝子の遺伝子及び周辺塩基配列構造の大規模解析 ☆堀内陽子1.3・春島嘉幸1.3・藤澤洋徳2・大柳一3.4・藤田雅文3・望月孝子3.5・倉田のり3(1. 新領域融合研究センター2. 統計数理研究所3. 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室4. 三菱スペース・ソフトウェア株式会社 つくば事業部 5. 国立遺伝学研究所 大量遺伝情報研究室)	311 でん粉原料用パレイシヨ系統におけるでん粉ゲル物性値の変異と、他のでん粉特性値との関係 ○池谷聡・藤田涼平・江部成彦(道総研北見農試)	411 RNA-Seqによるリョクトウ貯蔵害虫抵抗性関連遺伝子の解析 ○石本政男1・高木恭子1・佐山貴司1・横田侑子1・S. Liu2・廣瀬亜矢2・中本有美2・寺石政義3・加賀秋人1(1. 生物研2. 北農研3. 京大院農)
13:45	112 天水田における水ストレス回避を目指したイネの側根発育に関わるQTLの同定と評価 ☆大橋里美1・仲田(狩野)麻奈2・北野英己3・山内章1・大飼義明1(1. 名大院生命農学2. 名大農学国際教育協力研究センター3. 名大生物機能開発利用研究センター)	212 イネ米糠タンパク質のプロテオーム解析 ☆滝澤虎三郎・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農学)	312 長期貯蔵性に優れたポテトチップ加工用パレイシヨ系統の選抜 ○藤田涼平・池谷聡・江部成彦・島田尚典(北海道立総合研究機構北見農業試験場)	412 ダイズのハスモンヨトウ抵抗性遺伝子が圃場における幼虫生息密度に及ぼす効果 ○大木信彦1・小松邦彦2・高橋将一1・高橋幹1・河野雄飛1(1. 九州沖縄農業研究センター2. 北海道農業研究センター)
	◆座長 石本政男(生物研)	◆座長 布目 司(農研機構野菜茶研)	◆座長 磯部祥子(かずさDNA研究所)	◆座長 安井 秀(九大院農)
14:00	113 超多粒イネを用いた穂の高次分枝に関するQTL解析 ☆藤城靖子1・保浦徳昇2・池田真由子2・北野英己2(1. 名古屋大農学2. 名古屋大生物機能開発利用研究センター)	213 日本イネ品種におけるコメ品質のゲノムワイドアソシエーション解析と予測 ☆杉村元1・セタ高也2・末廣美紀3・畑中啓佑3・坂本拓也3・山崎将紀3・江花薫子2・岩田洋佳1(1. 東大農学生命科学2. 生物研3. 神戸大院農附属食資源教育センター)	313 イネゲノムリソースを活用した幼苗段階で初期選抜可能な劣性雄性能系統の開発ー遺伝的組換えの頻度を高めた育種法の開発に向けて ☆田中淳一1・川岸万紀子1・田部井豊2・加藤浩1(1. 農研機構作物研究所2. 農業生物資源研究所)	413 DNAマーカーを用いた国内未発生ジャガイモシストセンチュウに対する抵抗性遺伝子を有するパレイシヨ品種の探索 ☆浅野賢治・津田昌吾・西中未央・田宮誠司(農研機構・北海道農業研究センター)
14:15	114 SNPマーカーを用いたスギの環境適応的遺伝子の検出及び連鎖地図上での位置 ○津村義彦・内山憲太郎・森口喜成・上野真義・伊原徳子(森林総合研究所)	214 発育予測モデルおよびゲノムワイドデータに基づく日本水稲品種群の出穂日予測 ☆渡部真哉1・吉岡拓磨2・出田収3・江花薫子4・中川博視5・山崎将紀2・岩田洋佳1(1. 東大農学生命科学2. 神戸大院農附属食資源教育センター3. 農研機構近中四農研4. 生物研5. 農研機構中央農研)	314 <i>barnase</i> のタベート組織特異的発現による優性の雄性能不稔イネの開発ー遺伝的組換え頻度を飛躍的に高める育種法の開発に向けて ○田部井豊1・七里吉彦1・小長谷賢一1.2・津田麻衣1・奥崎文子1・加藤浩3・田中淳一3(1. 農業生物資源研究所2. 森林総研林木ババイオ3. 農研機構 作物研究所)	414 イネ深根性遺伝子 <i>Dro1</i> は乾燥回避能力を高める ☆宇賀優作1・杉本和彦1・小川諭志2・J. Rane2・石谷学2・木富悠花3・大飼義明3・小野和子1・菅野徳子1・原奈穂1・奥健忠1・松本隆1・奥野員敏4・矢野昌裕1(1. 生物研2. CIAT3. 名古屋大生命農学4. 筑波大学生命環境)
14:30	115 恋ぼのかの高度胴割れ抵抗性の遺伝解析とWGSによるゲノム構成情報の利用 ☆儀間康造1・赤石有加1・川崎通夫1・川村陽一2・田淵宏朗3・吉田健太郎4・夏目俊4・小杉俊一4・寺内良平4・石川隆二1(1. 弘前大学農学生命科学部2. 青森県産業技術センター3. 農研機構中央農研北陸研究センター4. (財)岩手生工工学研究センター)	215 タマネギおよびシャロット倍加半数体間のF1雑種に由来する雌性発生個体群の作出 ☆岩田智志・山内直樹・執行正義(山口大学農学部)	315 インベーター法による青森県水稲品種識別マーカーの開発とそれを利用した原種系統維持法の確立 ○神田伸一郎1・森田衣緒1・宇津志博恵2・齋藤宏昌2・前田一春1・上村豊和1・小津渡1(1. 青森産技農林総研2. 岩手生工研セ)	415 Submergence tolerance in transgenic rice overexpressing glycogenin glucosyltransferase (OsGGT) ☆A. Eltayeb1・Eltayeb H.Mohamed E.2・辻本壽1・田中淳2(1. 鳥取大学乾燥地研究センター2. 鳥取大学大学院連合農学研究科)
14:45	116 大豆のカドミウム吸収性を制御する遺伝子のファインマッピング ☆平田香里・山田哲也・山田直弘・羽鹿牧太(農研機構 作物研究所)	216 DNAマーカーを利用した栄養繁殖性リンドウの品種識別技術の開発 ○西原昌宏1・山田恵理1・齋藤美沙1・牛久由夏1・嶋田典基1・日影孝志2・中塚貴司1(1. 岩手生工研セ2. 八幡平市花き研セ)	316 他雑性作物におけるゲノミックセレクション: 受粉後選抜が必要な形質の場合 ☆矢部志央理1・大澤良2・岩田洋佳1(1. 東大院農学生命科学2. 筑波大院生命環境)	416 根の通気組織形成能が低下したイネrcn1変異体におけるエチレン生合成 ☆山内卓樹1・塩野克宏2・高牟禮逸朗3・森仁志1・堤伸浩4・加藤清明5・中国幹生1(1. 名大院生命農学2. 福井県立大3. 北大農院4. 東大農学生命科学5. 帯広畜産大)

2日目(3月30日)午後 口頭発表プログラム						
第5会場(教育F棟2104教室)		第6会場(教育A棟マルチメディア教室1)		第7会場(教育A棟マルチメディア教室2)	3月30日	
◆座長 蝶野真喜子(農研機構)		◆座長 千田峰生(弘前大学農学生命科学部)		◆座長 鷲田治彦(奈良先端大)		
509	イネのPLASTOCHRON遺伝子の発現制御による器官サイズの改変 ☆三村真生1・桧原健一郎1・佐藤豊2・長戸康郎1・伊藤純一1(1. 東大農学生命科学2. 生物研)	609	コムギのBBおよびGGゲノムとクサビコムギのSSゲノムとの系統関係 B. Rai1・高橋弘子2・真壁壮1・〇中村郁郎1(1. 千葉大学園芸学研究科2. (株)ベックス)	709	スイッチグラスの簡便で安定的な形質転換法 〇小川洋一1・白川一2・河本恭子2・浅見結貴1・西村いくこ2・近藤康弘1(1. ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン2. 京大院理学)	13:00
510	超極早生バンコムギ系統「超極早生」およびその両親系統における花成関連遺伝子の発現解析 木下実香1・加藤啓介1・藤田雅也2・〇村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 九州沖縄農研センター)	610	ゲノム構成と形態的特徴から見た野生イネ遺伝資源の再評価 ☆武田泰実1・池田真由子2・山口秀和2・村田強1・山木辰一郎3・加藤淳太郎1・野々村賢一3・4・倉田のり3・4・北野英己2(1. 愛知教育大生物2. 名大生物機能開発利用研究センター3. 遺伝研4. 総研大生命科学)	710	タバコをモデルとしたbarnase-barstarシステムによる葉緑体形質転換体のホモプラズミック化促進戦略 ☆奥崎文子・津田麻衣・七里吉彦・田部井豊(農業生物資源研究所)	13:15
511	花成遅延を誘発する細胞質置換コムギ系統におけるVRN1およびWFT同祖遺伝子の発現パターン ☆加藤啓介・村井耕二(福井県大生物資源)	611	日本産タケ連植物の遺伝育種学的研究XXXII. ホウライチクの1品種、スオウチクから出現した銀明型系統の開花と次代芽生の形質 〇村松幹夫(岡山大学名誉教授)	711	イネにおけるIRE1を介したOsbZIP50の活性化によって誘導される小胞体ストレス応答 ☆若佐雄也・林晋平・高橋英之・川勝泰二・高岩文雄(生物研)	13:30
512	オオムギ品種早木曾2号の早生遺伝子が出穂関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ☆金古卓磨1・石原大輔1,2・明石由香利1・西田英隆1・加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. サッポロビール(株))	612	QTLs underlying inflorescence architecture in sorghum detected by association analysis ☆HMON KHAINGPANN WITT・T. Shehzad・K. Okuno(Grad. Sch. Life and Envi. Sci., U.Tsukuba)	712	RNA silencing inducible sequenceの作用機作の解析 ☆川勝泰二1・若佐雄也1・保田浩1,2・高岩文雄1(1. 生物研2. 現 北農研)	13:45
◆座長 村井耕二(福井県大生物資源)		◆座長 中村郁郎(千葉大学園芸学研究科)		◆座長 川勝泰二(生物研)		
513	コムギ系統「超極早生」がもつ劣性早生遺伝子のSSRマッピング 川上耕平1・竹口真吉1・新田みゆき2・〇西田英隆1・藤田雅也3・那須田周平2・明石由香利1・加藤鎌司1(1. 岡山大院自然2. 京大院農学3. 農研機構・九冲農研)	613	hca1-1, hca2-1遺伝子によるイネ雑種黄化現象によって引き起こされる染色体断片の消失 ☆一谷勝之1・竹本祐真1・田浦悟2・佐藤宗治1(1. 鹿大農2. 鹿大遺伝子実験施設)	713	シロイヌナズナとキャベツの体細胞雑種のミトコンドリアゲノムの構造と後代への伝達 〇山岸博・津田瑞江・田中義行・寺地徹(京産大総合生命科学部)	14:00
514	バンコムギと合成バンコムギ間の穀粒の形の違に関するQTL解析 ☆岡本裕樹1・池田達也2・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 近中四農研)	614	Characterization and genotyping of LIA rice line derived from the cross between MwM, an African wild species and T-65 ☆E. Gichuhi・氷見英子・前川雅彦(岡山大学植物研)	714	膜透過ペプチドを利用した植物へのイネフロリゲンHd3aタンパク質直接導入 ☆鷲田治彦1・辻寛之1・田岡健一郎1・児嶋長次郎2・島本功1(1. 奈良先端大・植物分子遺伝2. 阪大・蛋白研)	14:15
515	Overexpression of a rice chloride channel gene (OsCLC4) in Arabidopsis induced salt stress tolerance and shape-response phenotypes ☆李学佳1・津釜大侑1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大農学生命科学2. 中国東北林業大学)	615	イネstay-green遺伝子NYC4の単離と機能解析 ☆山谷浩史1・佐藤豊2・増田優1・森田竜平3・西村実4・草場信1,5(1. 広島大理学研究科2. 生物研3. 理研仁科センター4. 生物研放育場5. CREST)	715	丹波黒大豆系エダマメ品種の機能性遊離アミノ酸とイソフラボン含量 〇古谷規行1・松井元子2・大谷貴美子2(1. 京都府農林水産技術センター生物資源研究センター2. 京都府立大学)	14:30
516	An Arabidopsis CCCH zinc finger protein (AtC3H4) interacting with G protein β subunit in the nuclear pore complex (NPC) ☆劉華1・津釜大侑1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大農学生命科学2. 中国東北林業大学)	616	強いヘテロシスは、ハクサイの一代雑種品種の収量に見られる 川辺隆大1・今野周平1・阿部寛史2・清水元樹2・富田寛也2・加治誠1・デニスエリザベス3・〇藤本 龍2(1. 渡辺採集場(株)2. 新潟大院自然科学3. CSIRO Plant Industry)	716	米の温水処理による糖組成・含量変動の品種間差異 ☆大竹利奈・内田晋作・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農学)	14:45

2日目 (3月30日) 午後 口頭発表プログラム

3月30日	第1会場 (教育D棟2101教室)	第2会場 (教育E棟2102教室)	第3会場 (教育F棟2103教室)	第4会場 (教育F棟2204棟教室)
	◆座長 久保貴彦 (国立遺伝研)	◆座長 松村英生 (信大遺伝子)	◆座長 岩田洋佳 (東大院農学生命科学)	◆座長 藤本 優 (東大院理)
15:00	117 栽培イネ <i>Oryza sativa</i> 2亜種と野生イネ <i>Oryza rufipogon</i> 3アクセッションにおける進化的関係 ☆大柳一・1,2・長崎英樹3・永田 俊文1・望月孝子3・神沼英里3・中村保一3・竹下紗由美2・会津智幸4・豊田敦4・藤山秋佐夫4・Q. Zhao5・B. Han5・倉田のり1(1. 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室2. 三菱スペース・ソフトウェア株式会社 つくば事業部3. 国立遺伝学研究所 大量遺伝情報研究室4. 国立遺伝学研究所 比較ゲノム解析研究室5. National Center for Gene Research and Institute of Plant Physiology and Ecology, Chinese Academy of Sciences)	217 ナスのゲノムショットガン配列からのゲノムワイドなSSRマーカー開発 ○福岡浩之1・白澤健太2・平川英樹2・宮武宏治1・根来里美1・布目司1・大山暁男1・山口博隆1(1. 農研機構野菜茶研2. かずさDNA研)	317 接ぎ木による接ぎ木相手の形質転換 ○原田竹雄・白松齡・葛西厚史(弘前大学農学生命科学部)	417 インド型水稻品種の玄米外観品質に関与するQTLの解析 ○竹内善信1・高田聖2・竹本陽子1・平林秀介1・安東郁男1・亀島雅史2・坂田雅正2(1. 農研機構 作物研究所2. 高知県農業技術センター)
15:15	118 タルホコムギ幼苗RNAの大規模解析とSNPの同定 ☆M. Iehisa1・清水顕史2・佐藤和広3・那須田周平4・宅見薫雄1(1. 神戸大農学2. 滋賀県立大環境科学3. 岡山大植物研4. 京都大農学)	218 ナス単為結果性遺伝子座 <i>Copd.1</i> の詳細化と同領域に座乗するBACクローンの整列化 ○宮武宏治・根来里美・山口博隆・布目司・大山暁男・福岡浩之(農研機構野菜茶研)	318 TOMATOMICs: トマト・オミックス情報の統合データベース 土田 博子1・長山大志1・藤田圭1・朽木大器1・濱田和輝1・横山幸治1・五十嵐香理1・青木考2・☆矢野健太郎1(1. 明治大・農・バイオインフォマティクス2. 大阪府大・生命環境)	418 耐塩性に関わるイネカルシウム依存性プロテインキナーゼ遺伝子の解析 ☆浅野敬幸1・林長生1・小林光智衣1・青木直大2・宮尾安藝雄1・光原一朗1・市川裕章1・小松節子1・廣近洋彦1・菊池尚志1・大杉立2(1. 農業生物資源研2. 東大農学生命科学)
15:30	119 ストレプトアビジンコート磁気ビーズを用いたアレル特異的ハイブリダイゼーション法によるSNP分析技術の開発 ☆殿崎薫・工藤純平・北柴大泰・西尾剛(東北大院・農学)	219 スギのEST-SSRの解析およびマーカー開発 ○上野真義1・森口喜成1・内山憲太郎1・宇治野—伊原徳子1・二村典宏2・櫻井哲也3・篠原健司2・津村義彦1(1. 森林総研樹木遺伝2. 森林総研生物工学3. 理研植物科学)	319 イネ雄性生殖器官におけるsmall RNAの網羅的解析 ☆藤岡智明1・濱田和輝2・本郷耕平2・矢野健太郎2・増子潤美3・牧野周4・前忠彦4・諏訪部圭太1・鈴木剛5・渡辺正夫3(1. 三重大生物資源2. 明治大農学3. 東北大生命科学4. 東北大農学5. 大阪教育大教育)	419 嫌気条件下のイネの根におけるスベリン生合成関連遺伝子群の発現解析 ☆渡邊宏太郎1・西内俊策2・中国幹生2(1. 名大農2. 名大院生命農学)
15:45	120 イネ第6染色体に座乗する2種の突然変異遺伝子[zn(ゼブラネクロシス)とd58(小粒矮性)]のマッピング 大島健人・袋井康輔・高橋淳也・○高牟禮逸朗(北大院農)	220 シロイヌナズナのGタンパク質βサブユニットと相互作用するU-box E3ユビキチンリガーゼPUB20の解析 ☆小林紫緒・津釜大輔・高野哲夫(東大アジア生物資源環境研究センター)	320 大規模遺伝子発現情報に基づく遺伝子発見手法の開発 ☆濱田和輝1・深澤開1・長山大志1・横山幸治1・土田博子1・五十嵐香里1・倉田のり2・矢野健太郎1(1. 明治大・農・バイオインフォマ2. 遺伝研・植物遺伝)	420 新規シクロームP450遺伝子 <i>CYP72A31</i> はイネにおける除草剤ビスピリバックナトリウム耐性に関与する ☆雑賀啓明1・田口(塩原)文緒1・堀清純1・田中剛1・松本隆1・伊藤剛1・矢野昌裕1・堀田順子2・角康一郎2・清水力2・土岐精一1,3(1. 生物研2. クミアイ化学(株)3. 横浜市大・木原生研)
16:00				
16:15			グループ研究集会1 (16:15~18:15) 米の食味育種と遺伝解析 世話人: 竹内善信 (作物研究所) 和田卓也 (福岡県農業総合試験場) 話題提供: 「北海道米のアミロペクチン分子構造の解析と新規食味評価法」 五十嵐俊成 (上川農業試験場)	グループ研究集会2 (16:15~18:15) “ゲノム育種研究者のためのクラウド解析入門ー Breeding Informatics 研究 X1” 世話人: 岩田洋佳 (東大) 矢野健太郎 (明治大) 話題提供: 「高速DNAシーケンサ・アーカイブDBとクラウド計算資源利用法」 神沼英里 (遺伝研・生命情報・DDBJ)

2日目（3月30日）午後 口頭発表プログラム				
第5会場（教育F棟2104教室）		第6会場（教育A棟マルチメディア教室1）		3月30日
◆座長 佐々英徳（千葉大園）		◆座長 内藤 健（生物研）		◆座長 古谷規行（京都府農林水産技術センター）
517	フイトクロムによる選択的スプライシング制御の解析 ☆牛島智一・柴田磨己1・四方明格1・大川恭行2・松岡健1・久原哲1・松下智直1(1. 九大院農2. 九大院医)	617	演題取り消し	717 エダマメの乾燥処理によるGABA含量向上に関する研究 ☆高橋由希子・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農学)
518	サツマイモにおける不和合性因子について ☆小田雅之・長谷川晃一・種坂英次・吉田元信(近畿大学農学部)	618	機能未知遺伝子 <i>TAW1</i> への <i>nDart1</i> 挿入系統における収量増加 ○前川雅彦1・吉田明希子2・C. Ruihong2・安野奈緒子2・経塚淳子2(1. 岡大植物研2. 東大農学生命科学)	718 フィチン酸合成を制御する転写因子解明のためのイネ培養細胞における発現解析 ☆松野幸也・藤村達人(筑波大院生命環境科学)
519	ダイコンのOS40型ミトコンドリアゲノムの構造解析-正常型およびオグラ型との比較- ☆田中義行・富岡関子・山岸博・寺地徹(京産大総合生命科学)	619	着色ダイズにおける種皮着色過程の解析 ☆松澤めぐみ・西村さつき・乗田理恵・川崎通夫・千田峰生(弘前大学農学生命科学部)	719 暖地向け大豆系統の納豆加工適性 ○河野雄飛・高橋将一・大木信彦・高橋幹(九州沖縄農研)
520	性連鎖マーカーを用いたホウレンソウの雄性および間性決定遺伝子に関する対立性検定 ☆山本和輝・織田裕二・長谷田茜・小野寺康之・三上哲夫(北大院・農)	620	黄ダイズ品種フクユタカの臍着色形質に関する解析 ☆佐野麻衣子1・松澤めぐみ1・森あゆみ1・穴井豊昭2・川崎通夫1・千田峰生1(1. 弘前大学農学生命科学部2. 佐賀大学農学部)	720 北海道向け水稻品種・系統の製粉特性と製パン適性 ☆池ヶ谷智仁・船附稚子・松葉修一・長澤幸一・西尾善太・梅本貴之・横上晴郁・黒木慎・清水博之・山内宏昭(農研機構 北海道農業研究センター)
				16:00
		グループ研究集会3（16：15～18：15） 「第41回生物進化・細胞遺伝談話会」・「遺伝資源海外調査の現状と課題（12）」共同開催 話題提供： 「ネギ属雑種植物における分子細胞遺伝学的解析」 山本 真紀 氏（関西福祉科学大学） 世話人：森 直樹(神戸大) 木庭 卓人(千葉大) 加藤 鎌司(岡山大) 大田 正次(福井県立大) 佐藤 雅志（(東北大)	グループ研究集会4（16：15～18：15） 育種学と農学のこれからを考える23 若手の会主催・研究集会 世話人： 山内 卓樹（名大） 内藤 健（生物研） 角井 宏行（名大） 話題提供： 1. Vigna属野生種が独自に獲得した耐塩性機構の解明（JSTさがけ5年型、ポストク募集セミナー） 内藤 健（生物研） 2. オルガネラ進化の色即是空と育種 藤井 壮太（京大） 3. 蛍光イメージングで解き明かす植物細胞膜切断装置の分子基盤とそのダイナミクス 藤本 優(東大)	16:15

ポスター発表プログラム (3月30日)

奇数番号 9:00-10:30 偶数番号 10:30-12:00 (体育館)

1. 品種育成・育種法

- P001 晩播栽培において多収で味噌の原料に好適な大豆新品種「あきまろ」
○高田吉丈・猿田正恭・岡部昭典(農研機構近中四農研)
- P002 製粉性が優れ、障害抵抗性のある通常アミロース軟質小麦新品種「西海191号」の育成
○藤田雅也1・河田尚之1・八田浩一1・久保堅司1・松中仁1・小田俊介2・関昌子3・波多野哲也1・田谷省三6・平将人2・塔野岡卓司5・谷口義則4・堤忠宏6・佐々木昭博5(1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・作物研3. 農研機構・中央農研4. 農研機構・東北農研5. 農林水産省6. 退職)
- P003 青立ちが少なく豆腐加工に適したダイズ新品種「はつさやか」
○猿田正恭・高田吉丈・岡部昭典(農研機構/近農研)
- P004 クラブコムギ由来のグルテニンサブユニットがコムギ粉のSDS沈降量に及ぼす影響
○吉村康弘1・池田達哉2(1. 道総研北見農試2. 近中四農研)
- P005 ミナミカオリ交配後代における初期分離世代での雨害抵抗性の評価および選抜
○久保堅司1・八田浩一1・池田達哉2・河田尚之1・藤田雅也1・松中仁1・小田俊介3(1. 農研機構・九州沖縄農業研究センター2. 農研機構・近畿中国四国農業研究センター3. 農研機構・作物研究所)
- P006 短粒高アミロース品種「東北198号」の特性
○酒井球絵1・遠藤貴司1・早坂浩志1・佐伯研一1・永野邦明2・千葉芳則1(1. 宮城古川農試2. 宮城大崎農改セ)
- P007 イタリアンライグラスの細胞質を用いた新規雄性不稔トールフェスク系統の特性
○荒川明1・藤森雅博2・土方浩嗣3・丸山真澄4・梶原美紀4・立花正5・内山和宏1・清多佳子1・水野和彦1(1. 農研機構畜産草地研究所2. 農研機構東北農業研究センター3. 家畜改良センター4. 農林水産省5. 雪印種苗)
- P008 マーカー選抜によりダイズシストセンチュウ・レース1抵抗性を導入したダイズ新品種「ユキホマレR」の育成
○萩原誠司1・三好智明1・白井滋久2・湯本節三4・田中義則1・鈴木千賀1・山口直矢1・黒崎英樹3・山崎敬之2・大西志全2(1. 道総研十勝農試2. 道総研中央農試3. 道総研北見農試4. 東北農業研究センター)
- P009 カルコフロール溶液を用いた高 β -グルカン含有大麦系統の簡易検定手法の開発
○一ノ瀬靖則・金子成延・小前幸三(農研機構・作物研究所)
- P010 硬質パン用小麦の吸水性評価におけるSRCの利用.
☆来嶋正朋1・勝見絵理子2・足利奈奈1・木澤恵子2・早川克志2・今村成男3・吉村康弘1(1. 道総研北見農試2. 日清製粉(株)つくば穀物科学研究所3. 日清製粉(株)北海道小麦センター)
- P011 分離世代における水稻籾付き種子からの簡便なDNA抽出法
☆林猛・小林麻子・富田桂(福井県農業試験場)
- P012 マンゴーにおけるCAPSマーカーの開発と育種への応用
○首藤亜耶乃1・太郎良和彦1・牧志祐子2・伊地良太郎3・高橋健2・松村さと4・島袋清香5・松田昇5・仲宗根智2・浦崎直也1(1. 沖縄県農研セ2. 沖縄農研セ名護支所3. 沖縄農研セ宮古島支所4. 沖縄農業大学校5. 沖縄園芸振興課)
- P013 カフェインレスチャの品種育成に向けたカフェインレス個体選抜マーカーの開発
☆萩野曉子1・山本将之2・谷口郁也1(1. 農研機構野菜茶業研究所2. 富山大学大学院理工学研究部(理学))
- P014 林木における生育モニタリング試験地からの優良個体の選抜手法の評価
○三浦真弘・平岡裕一郎・渡辺敦史(森林総研林育セ)
- P015 北陸193号由来の新規閉花受粉性突然変異体の解析
○大森伸之介1・黒木慎2・小池説夫3・林高見3・山口知哉3,4・矢頭治1・吉田均5(1. 中央農研北陸研究センター2. 北海道農研センター3. 東北農研センター 4. 農林水産技術会議事務局5. 作物研)
- P016 水稻品種あきたこまちのモチ性変異体の解析
堀井苑美1・大磯俊行1・川本朋彦2・佐藤(永澤)奈美子1・櫻井健二1・渡辺明夫1・赤木宏守1・高橋秀和1(1. 秋田県大生物資源2. 秋田農技セ農試)
- P017 多収で外観品質が優れる極大粒シストセンチュウ抵抗性ダイズ新品種「ゆめのつる」の育成
○大西志全1・鴻坂扶美子1・藤田正平1・田中義則1,2・三好智明1,2・越智弘明3,4・手塚光明3,5・白井和栄1,6・萩原誠司1,2(1. 道総研中央農試2. 現:道総研十勝農試3. 道総研道南農試4. 上川郡東川町5. 石狩市6. 現:道総研北見農試)
- P018 耐旱性幼苗選抜と圃場選抜の組合せによるオーチャードグラス高越夏性・多収系統の育成
○内山和宏・水野和彦・荒川明・清多佳子(農研機構 畜草研)

2. 育種情報・データベース

- P019 画期的な農畜産物作出のためのゲノム情報データベース 1 総合DB・ブラウザについて
☆E. Solovieva・寺本由美子・伊藤剛・宮尾安藝雄(農業生物資源研究所 農業生物先端ゲノム研究センター)
- P020 演題取り消し
- P021 FieldBook: Increasing Phenotyping Efficiency
A. Garcia1・岩田洋佳2・坂本拓也3・畑中啓佑3・山崎将紀3(1. アメリカ農務省農業研究部門2. 東大院農学生命科学3. 神戸大院農附属食資)
- P022 携帯端末を活用した圃場でのイネ形質評価の効率化
☆セタ高也・柴谷多恵子・堀清純・江花薫子・矢野昌裕(生物研)

3. 遺伝資源・系統分化

- P023 アゼルバイジャンにおける不斉条オオムギの分布
☆石井誠1・田中裕之2・佐藤和広1(1. 岡大植物研2. 鳥取大農学部)
- P024 長井系ハナショウブとその他の栽培品種における花色素の比較
☆北原(酒井)かおり1,4・村井良徳2,3・房相佑1,4・岩科司3,4・金子幸雄1,4(1. 宇都宮大農2. 慶應大・化学3. 国立科博・植物4. 東京農工大院連農)
- P025 インドで新たに採集したインド矮性コムギとエンマーコムギの葉緑体ゲノムの多様性
☆新見友季子1・森直樹1・大田正次2・千葉一3・S. Vasant4・長田俊樹5(1. 神戸大院農・遺伝2. 福井県立大生物資源3. 東北学院大学4. デカンカレッジ5. 総合地球環境学研究所)
- P026 日本在来香米の独立起源に関する遺伝特性の解析
☆高橋 育弥1・大塚 健太1・田中克典1・殿内暁夫1・猪谷 富雄2・石川 隆二隆二1(1. 弘前大学農学生命科学部2. 広島県立広島大学)
- P027 オーストラリアの多年生野生イネ葉緑体多型評価と自然集団の多様性
☆外和昌大1・小林雄1・田中克典1・一谷勝之2・中村郁郎3・佐藤洋一郎4・佐藤雅志5・石川隆二1(1. 弘前大学農学生命科学部2. 鹿児島大学農学部3. 千葉大学大学院園芸農学研究科4. 総合地球環境学研究所5. 東北大学大学院生命科学研究科)
- P028 ハマダイコンにおけるオグラ型雄性不稔に対する稔性回復遺伝子(ppr-B)の分子集団遺伝学的解析
☆富岡岡子1・安本景太1・平出美穂子2・高橋亮1・山岸博1・寺地徹1(1. 京産大総合生命科学2. 郡山女子大)
- P029 ダイズ在来系統ダダチャマメの系統分化
☆小西省吾・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農学部)
- P030 サクラソウ色素成分の同定とそれに基づく花色の多様性解析
☆橋本奈々1・岩科司2・大澤良1(1. 筑波大院生命環境2. 国立科博・植物)
- P031 リンドウ属植物エステラーゼ遺伝子W14/15の種特異的変異、種内変異および地理的変異
○山崎美幸1・千葉さくら1・土井寿子2・日影孝志2,3・斎藤靖史1,2・高畑義人2・堤賢一1,2(1. 岩手大・寒冷バイオ2. 岩手大・院・連合農学3. 八幡平市花き開発研究センター)
- P032 葉緑体および核SSRに基づく岩手県在来「安家ダイコン」の由来について
松坂彩佳・高橋有・横井修司・○高畑義人(岩手大学農)
- P033 演題取り消し
- P034 サクラ栽培品種の系統関係に関する研究
○加藤珠理1・松本麻子1・吉村研介1・勝木俊雄2・岩本宏二郎2・津田吉晃3・石尾将吾4・中村健太郎4・森脇和郎5・城石俊彦6・五條堀孝6・吉丸博志2(1. 森林総合研究所2. 多摩森林科学園3. イタリアCNR植物遺伝研4. 住友林業株式会社5. 財団法人遺伝学普及6. 国立遺伝学研究所)
- P035 葉緑体SSRマーカーを利用した野生イネ集団における遺伝的構造の解析
☆吉富麻衣子1・穴戸理恵子1・野村和成1・秋本正博2・石井尊生3・S. Minn4・S. Than4・H. Tin4・S. Men5・T. Nguyen6(1. 日本大生物資源2. 帯畜大3. 神戸大農4. ミャンマー農林灌漑省5. カンボジア農業研究所6. クーロンデルタ稲研究所)
- P036 青い糊粉層をもつマカロニコムギおよびパンコムギ系統の育成
○渡部信義1・P. Martinek2・持田実佳1・久保山勉1(1. 茨城大農2. Agrotest Fyto, Ltd.)
- P037 アマランサス(*Amaranthus caudatus* L.)のWaxy座における突然変異の分子基盤: アマランサスの栽培種3種におけるモチ変異体の進化
朴永俊1・根本和洋2・友岡憲彦1・○西川智太郎1(1. 農業生物資源研究所2. 信州大学大学院農学研究科)
- P038 アブラナ科遺伝資源とイネ科雑草の種判別技術の開発
殿崎薫・堀佑太郎・北柴大泰・○西尾剛(東北大院・農学)
- P039 エンマーコムギ(*Triticum turgidum* L.)における日長反応性遺伝子Ppd-1の新規変異とその地理分布
☆竹中祥太郎・河原太八(京都大学大学院農学研究科)
- P040 トウガラシの辛味成分合成遺伝子Catf1の遺伝的変異
☆鶴巻啓一・阿部利徳・笹沼恒男(山形大農)
- P041 西アフリカ産イネ遺伝資源におけるいもち病抵抗性変異
T. Odjo1・小出陽平2・柳原誠司2・田中(川崎)顕子2,3・○福田善通2(1. University of Abomey-Calav, Benin 2. 国際農研3. 鳥取大連農)
- P042 コムギ祖先種における2タイプのセントロメア特異的ヒストンH3のDNA変異解析
☆水野信之1,2・河邊昭3・E. Evtushenko4・A. Houben5・遠藤隆1・那須田周平1(1. 京大院農2. 日本学術振興会特別研究員3. 京都産業大総合生命科学4. ロシア科学アカデミーシベリア支部5. ライプニッツ植物遺伝作物学研究所)

4. 変異創成

- P043 BSMV-VIGSによるオオムギNud遺伝子の発現抑制と皮裸性の変化
○掛田克行1・青海滋行1・松田彩乃1・武田真2(1. 三重大生物資源2. 岡山大植物研)
- P044 重イオンビームによって誘発したイネ耐塩性突然変異系統の特性比較 2
○林依子1・森田竜平2・永野拓馬3・半澤栄子4・東海林英夫1・小暮祥子1・若菜妙子1・白川侑希1・保倉明子3・高橋和也1・佐藤雅志4・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 理研イノベーションセンター3. 東京電機大学4. 東北大院生命科学)
- P045 高い花粉および種子稔性を有するドクムギ×イタリアンライグラスのF1雑種個体
○清多佳子1・荒川明1・内山和宏1・藤森雅博2・水野和彦1・才 宏偉3・杉田紳一3(1. 農研機構 畜草研2. 農研機構 東北農研3. 日本草地畜産種子協会作物研究所)
- P046 タバコ属種間雑種(*Nicotiana suaveolens* × *N. tabacum*)の懸濁培養細胞の致死性に関与するオートファジーの特徴付け
○山田哲也1・仁平さおり1・篠崎良仁1・佐野直人1・丸橋亘2・金勝一樹1(1. 農工大農2. 明治大農)

- P047 オブコニカおよびサクラソウとイワザクラ「カマナシコザクラ」の交雑で見出された高交雑親和性
村越みのり¹・伊藤望²・松田彩乃³・大橋広明⁴・三位正洋⁵・田中法生⁶・芹沢俊介¹・○加藤淳太郎¹(¹. 愛知教育大生物². 筑波大院生命環境³. 三重大生物資源⁴. 愛媛大農⁵. 千葉大院園芸⁶. 国立科博植物)
- P048 アグロバクテリウムによるパンコムギの形質転換法の確立
☆岩佐裕章¹・石田祐二²・一色正之¹(¹. 横浜市大木原生研². 植物イノベーションセンター 日本たばこ産業株式会社)
- P049 細菌病抵抗性および除草剤抵抗性遺伝子を導入した飼料イネ組換え体の作出
○川田元滋¹・谷口洋二郎¹・益田悠¹・田中淳一¹・竹内善信¹・清水力²・安東郁男³・大島正弘¹(¹. 農研機構・作物研究所². クミアイ化学工業株式会社・生物科学研究所³. 農林水産省・技術会議)
- P050 トウモロコシALS遺伝子の3'領域下流に見られるトランスポゾン様配列(MITE)を利用した効率的な形質転換体の選抜
○高溝正¹・堀田順子²・角康一郎²・清水力²(¹. 畜産草地研究所². クミアイ化学)
- P051 パンコムギにおける α/β -グリアジンを抑制した形質転換体の作出およびその評価
☆中村真子・齋藤美沙・川浦香奈子・荻原保成(横浜市立大学木原生物学研究所)
- P052 ダイズにおける貧窒素栄養応答性R2R3-MYBの機能解析
☆櫛引はるか・赤田辰治(弘大農学生命科学)
- P053 *Brassica rapa* 由来の変異型acetolactate synthase遺伝子を用いたハクサイの形質転換体の作出と除草剤耐性の遺伝解析
☆津田麻衣¹・小長谷賢一^{1,2}・奥崎文子¹・田部井豊¹(¹. 生物研². 森林総研森林バイオ)
- P054 *HWA1*と*HWA2*を原因遺伝子とするイネ雑種弱勢における細胞死
☆飯塚貴大¹・一谷勝之²・久保山勉³・小田雅行¹・手塚孝弘¹(¹. 大阪府大院生命環境². 鹿児島大農³. 茨城大農)
- P055 重イオンビーム照射によるアポミクシス遺伝子領域での欠失変異誘発と線量・LETの影響
○高原学¹・蝦名真澄¹・森田竜平²・風間裕介²・阿部知子²・高溝正¹・中川仁³(¹. 農研機構・畜産草地研². 理研・仁科センター³. 農研機構・バイオマス研究センター)
- P056 ハツカダイコン *Gln1;1* 遺伝子近傍の染色体構造が引き起こすシロイヌナズナ異数体様形態異常
○渡辺明夫・外館和希・佐藤奈美子・櫻井健二・高橋秀和・赤木宏守(秋田県立大生物資源科学部)
- P057 アポミクシス性特異的遺伝子の機能解析 ―シロイヌナズナに組み込まれたASG-1遺伝子の検出―
○西村佳子¹・鉄村琢哉²・陳蘭荘¹(¹. 南九州大環境園芸². 宮崎大農)
- P058 フルクタン生合成酵素遺伝子を導入したテンサイ形質転換体に蓄積する糖の比較解析
☆松平洋明¹・安西弘行²・玉掛秀人³・吉田みどり¹(¹. 農研機構・北海道農研². 茨城大遺伝子³. 北海道中央農試)

5. 抵抗性・耐性

- P059 インド型イネ品種「Kasalath」由来の新規イネいもち病抵抗性遺伝子の同定
☆田中(川崎)顕子^{1,2}・柳原誠司¹・福田善通^{1,2}(¹. 国際農研². 鳥取大連合農)
- P060 イネいもち病抵抗性に関する飼料イネ品種の遺伝的変異
○古賀郁美¹・田中顕子^{1,2}・小泉信三³・福田善通¹(¹. 国際農研². 鳥取大連農³. 中央農研)
- P061 日本における3系統のコムギ縮萎縮ウイルスに対する複数の抵抗性遺伝子の効果
☆小島久代¹・西尾善太²・八田浩一³・関昌子⁴・乙部千雅子¹・高山敏之¹・蝶野真喜子¹・松中仁³・笹谷孝英⁴・小田俊介¹(¹. 農研機構作物研². 農研機構北海道農研³. 農研機構九州沖縄農研⁴. 農研機構中央農研)
- P062 パパイアとマウンテンパパイアの属間交雑によるパパイア奇形葉モザイクウイルス抵抗性個体の作出
○太郎良和彦¹・首藤亜耶乃¹・河野伸二²・安田慶次³・浦崎直也¹(¹. 沖縄農研セ2. 沖縄病害虫防除技セ³. 沖縄農研セ名護支所)
- P063 *Allium roylei*由来の生物活性代謝物
☆M. Abdelrahman・伊藤真一・山内直樹・執行正義(山口大学大学院農学研究科)
- P064 形質転換イネを用いたコムギにおけるストレス誘導性遺伝子の機能解析
☆石黒郁美・川浦香奈子・鐵悦宏・荻原保成・一色正之(横浜市大木原生研)
- P065 シロイヌナズナの細胞内小胞輸送因子AP-3 μ の解析
☆J. Kansup・津釜大侑・高野哲夫(東大アジアセンター)
- P066 演題取り消し
- P067 シロイヌナズナのスクロース合成酵素(AtSUS)と環境ストレス耐性の関係
☆大屋美知(東大農学生命科学)
- P068 ダイコンからのアブシジン酸分解酵素遺伝子の単離と低温下種子発芽における発現
川上小百合・立石亮・窪田聡・○野村和成(日本大生物資源)
- P069 リン酸欠乏ストレス条件下におけるイネ品種間の比較トランスクリプトーム解析
☆大野陽子・川原善浩・谷澤隆之・金森裕之・山形晴美・細川聡美・山本麻由・呉健忠・伊藤剛・松本隆(農業生物資源研究所)
- P070 窒素欠乏条件下におけるイネ根の通気組織の形成
☆安彦友美・小原実広(国際農林水産業研究センター)
- P071 イネ染色体断片置換系統で見られた褐色斑の遺伝学的解析
○福田篤徳・杉本和彦・安藤露・溝淵律子・山本敏央・矢野昌裕((独)農業生物資源研究所)

6. 品質成分

- P072 普通大豆品種「京白丹波」の子実成分および物性の評価
○滝澤理仁1・岩川秀行2・轟大志3・松井元子4・佐々木克己5・南山泰宏6・古谷規行1・小坂能尚1・松本静治1(1. 京都府農技セ生資セ2. 京都府農技セ農林セ3. 京都府南普セ4. 京都府大院生命環境5. 京都府食品産業協会6. 和歌山大・教育)
- P073 軟質コムギのグルテニンサブユニットがクッキーおよびビスケット適性に及ぼす影響
○西尾善太1・池田達也2・伊藤美環子1・田引正1・長澤幸一2・山内宏昭1(1. 北海道農研2. 近中四農研)
- P074 組換えダイズ種子に蓄積するアルツハイマー病エpiteー融合貯蔵タンパク質の蓄積機構解析
○長谷川久和1・高木恭子2,3・丸山伸之4・石本政男2,3・寺川輝彦1(1. 北興化学開発研2. 生物研3. 北農研4. 京大院農)
- P075 ゴマにおける機能性成分の生合成系遺伝子群の発現制御機構の解析
○山本将之1・小笠原嘉紀2・増田恭次郎2・若杉達也1・山田恭司1(1. 富山大・院・理工2. 富山大・理)
- P076 炊飯米白色度の品種間差異と年次変動
☆後藤元1・浅野目謙之2・鈴木啓太郎3・佐野智義1・齋藤寛1・阿部洋平1・中場勝1(1. 山形県農業総合研究センター水田農業試験場2. 山形県農業総合研究センター3. 農研機構 作物研究所)
- P077 登熟中のイネ未熟種子のATP量の減少と高温登熟障害との相関の解析および品種間差異の検定
シヤクタカシ・八重島充弘・草野博彰・河本健正・大沼万里子・廣政智子・平井望央・松永拓也・田代涼夏・佐々木忠将・☆島田浩章(東京理科大学理工)
- P078 トウガラシの種間接木によって誘導された成熟果実色変異のカロテノイド生合成に関する解析
☆山口智弘1・平田豊1・渡辺慶一2・川合伸也1(1. 農工大 院 農2. 日大 短期大学部)

7. 収量・バイオマス

- P079 ダイズの水耕栽培による多収性の実現とその要因解析
○小松康彦1・土屋泰広1・土井寿子2・横井修司2・高畑義人2(1. 株式会社 コンポン研究所2. 岩手大学 農学部)
- P080 ススキHd1ホモログに見いだされた多型
○長野宏則・内野紀彦・工藤悠・李曉玉・K. Anzoua・山田敏彦(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

8. 発生

- P081 組織学的解析による野生オオムギ *Hordeum bulbosum* L. の球茎形成過程および糖蓄積過程の解明
☆浅間尚海1・小林有里奈1・唐戸俊介1・坂智広1・永田典子2・小林恵2・澤木史江2(1. 横浜市大木原生研2. 日本女子大理学部)
- P082 コムギの新規アブジン酸代謝酵素遺伝子変異の検出と変異部位の解析
○蝶野真喜子1・松中仁2・関昌子3(1. 農研機構・作物研2. 農研機構・九沖農研3. 農研機構・中央農研北陸センター)
- P083 多年生オオムギ *Hordeum bulbosum* L. の球茎形成部位における1次代謝産物解析
☆唐戸俊介1・浅間尚海1・小林有里奈1・本島ゆか1・飯塚裕美子2・草野都2・坂智広1(1. 横浜市大木原生研2. 理化学研究所)
- P084 日長変化で誘導される *Hordeum bulbosum* L. 球茎形成過程の遺伝子発現解析
☆小林有里奈・浅間尚海・唐戸俊介・古川真人・佐潟エリカ・小松憲治・坂智広(横浜市大木原生研)
- P085 ギニアグラスを用いたアポスポリー性胚のう始原生殖細胞単離手法の確立へのアプローチ
○陳蘭荘・西村佳子(南九州大環境園芸)
- P086 茶樹におけるフロリゲン遺伝子 *FLOWERING LOCUS T (CsFT1)* の同定
☆山田真希・村井耕二(福井県大生物資源)
- P087 リンゴ小球形潜在ウイルスベクターを利用した各種植物FTタンパク質の開花促進効果の比較
○山岸紀子・八木皓平・中村裕子・吉川信幸(岩手大農)
- P088 マイクロトムにおけるCytokinin Dehydrogenase/Oxidase (CKX) 遺伝子の解析
☆白松齡1,2・川又奨1・原田竹雄1(1. 弘前大学農学生命科学2. 岩手大院連合農学)
- P089 マウンテンパパイア (*Vasconcellea cundinamarcentis*) のMADS box protein 遺伝子のクローニング
○浦崎直也1・太郎良和彦1・首藤亜耶乃1・玉城盛俊1・上野広樹2・松村英生2(1. 沖縄県農研セ2. 信大遺伝子)
- P090 胚-胚乳比率を制御するRE遺伝子の解析
☆松原健一郎1・永澤信洋2,3・H. Sakai2・長戸康郎1(1. 東大院農学生命科学2. デュボン3. 現; 秋田県立大生物資源科学部)
- P091 トルコギキョウ花弁層数に対する温度の効果
○川勝恭子・福田直子・牛尾亜由子(農研機構花き研)
- P092 下流因子から見てきたCRL5遺伝子によるイネの冠根形成制御機構
☆木富悠花1・王ハン輝1・兒島孝明1・北野英己2・犬飼義明1(1. 名大院生命農学2. 名大生物機能開発セ)
- P093 イネ短粒変異体 *Small and round seed5* の同定
☆瀬上修平1・河野いづみ2,3・安藤露2,4・矢野昌裕5・北野英己6・三浦孝太郎1・岩崎行玄1(1. 福井県立大学生物資源2. 農林水産先端技術研究所3. 現; 理化学研究所4. 現; 農業生物資源研究所5. 農業生物資源研究所6. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)
- P094 日長非感受性を示すタルホコムギ系統の出穂に関するQTL解析
香山佳子・○宅見薫雄(神戸大農学)
- P095 AGB1はBIN2と相互作用してブラスノステロイド信号伝達を制御する
☆津釜大侑・高野哲夫(東大アジアセンター)

9. 増殖・生殖

- P096 形質の優れた雄性不稔スギ作出に向けた取り組み
☆坪村美代子・栗田学・平岡裕一郎・三浦真弘・渡辺敦史(森林総合研究所林木育種センター)
- P097 テンサイOwen型細胞質雄性不稔に作用する新規稔性回復遺伝子 *Rf2* の遺伝解析
☆本間雄二郎1・田口和憲2・樋山肇1・栗野里香1・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大院・農2. 北海道農業研究センター)
- P098 テンサイOwen型細胞質雄性不稔性における花粉稔性回復遺伝子 *Rf1* のプロモーター解析
☆鏡豊代1・田口和憲2・久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大・大学院農学院2. 北海道農業研究センター)
- P099 アブラナ属におけるミトコンドリアゲノムの反復配列とCMSの解析
☆大嶺彩・平田豊・川合伸也(農工大院・農)
- P100 ダイコンの細胞質雄性不稔遺伝子 *orf125* を含む一次転写産物の転写後過程の解析
☆鳥塚悠太・今村順・肥塚信也(玉川大学大学院 農学研究科)
- P101 *Aegilops mutica*細胞質をもつ稔性および雄性不稔性の細胞質置換系統におけるミトコンドリア遺伝子およびORFのRNA発現パターン
☆Y. Gyawali・田中義行・辻村真衣・寺地徹(京産大総合生命科学)
- P102 ダイコンとセイヨウナタネの細胞融合時のミトコンドリア融合とゲノム組換えの検出の試み
二階堂睦・今村順・肥塚信也(玉川大・農)
- P103 合成ナプスとウォータークレスの細胞融合に由来する雄性不稔性系統の解析
○畠山勝徳1・吉秋斎1,2・石田正彦1・松元哲1(1. 農研機構野菜茶研2. 石川県農業総合研究センター)
- P104 *Brassica* 属作物における超多検体小孢子培養法の開発
☆高橋有・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
- P105 リンドウ未授精胚珠培養における胚様体発達機構の解析
☆土井寿子・小室岬・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
- P106 肥大特性の異なるサツマイモ系統・品種における定植方法の影響
○藤田敏郎・高田明子・藏之内利和・中村善行・片山健二(農研機構作物研究所)
- P107 水稻の自然交雑率に影響を与える生態および環境要因の解析
☆水口亜樹1・芝池博幸2・大東健太郎2・木水真由美1・田淵宏朗1・大森伸之介1・横山宏太郎1・小南靖弘1・青木秀之1・中野絢菜3・相井城太郎3・田中有司3・矢頭治1(1. 農研機構中央農研センター2. 農業環境技術研究所3. 新潟薬科大学)
- P108 *Oryza* 属の種間交雑における花粉管伸長障害の特性解析
○M. Shenton・倉田のり(国立遺伝学研究所)
- P109 テンサイOwen型細胞質雄性不稔ミトコンドリアの呼吸は活性化している
☆松永宗幸・久保友彦・三上哲夫(北大・院・農)
- P110 細胞質置換雄性不稔ナスに対する稔性回復遺伝子のSTSマーカー
☆吉見麻衣子1・牟田部天平1・一色司郎2・齊藤猛雄3・山岸博1(1. 京産大総合生命科学2. 佐賀大農3. 農研機構野菜茶研)

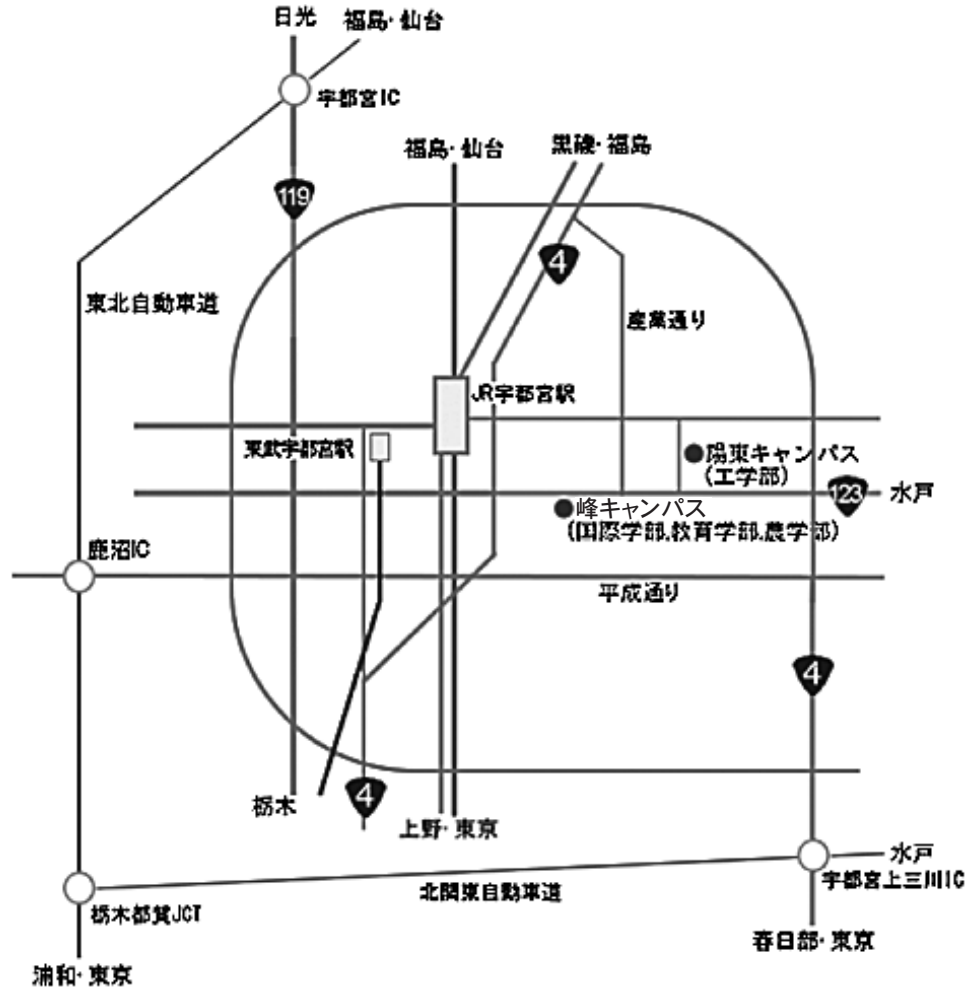
10. ゲノム解析・DNAマーカー

- P111 *Pennisetum* における apospory-specific genomic region (ASGR) 染色体の進化
○秋山征夫1・S. Goel2・J. Conner3・W. Hanna4・山田・秋山仁美5・Ozias-Akins Peggy 3(1. 農研機構・東北農研2. デリー大植物3. ジョージア大園芸4. ジョージア大作物土壌5. 岩大農学)
- P112 ゲノムワイドSNPを用いたスギ精英樹におけるアソシエーション解析 -雄花着花量および材質(2)-
☆内山憲太郎1・岩田洋佳3・伊原徳子1・上野真義1・森口喜成1・坪村美代子2・三嶋賢太郎2・井城泰一2・渡辺敦史2・二村典宏1・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総研2. 東大農学生命科学3. 森林総研林木育種センター)
- P113 Revolverトランスポゾン様多重遺伝子族のゲノム、RNAおよび生態における多様な変異
○富田因則1・E. Nevo2(1. 鳥取大農2. ハイファ大進化研)
- P114 パンコムギ6B染色体のBAC物理地図の構築
☆小林史典1・片桐敏1・唐澤渉1・塙優美子1・藤澤弘子1・伊藤幸代1・向井喜之1・金子聡子2・那須田周平2・早川克志3・J. Dolezel4・呉健忠1・松本隆1(1. 生物研2. 京大院農3. 日清製粉4. チェコ実験植物学研究所)
- P115 次世代シーケンサーを用いたイネ属での雑種強勢機構の解析
☆太田垣駿吾1・大柳一1,2・豊田敦1・藤山秋佐夫1・倉田のり1(1. 国立遺伝学研究所2. 三菱スペース・ソフトウェア)
- P116 黄色コスモスの花色発現に関わる遺伝子の発現解析
☆渡邊美香・雨宮虎太郎・今村順・肥塚信也(玉川大学大学院農学研究科)
- P117 ダイズの種子粒重に関するQTLの検出と異なる栽培環境における安定性の検証
☆加藤信1・藤井健一朗2・佐山貴司3・島村聡1・白岩立彦2・石本政男3・菊池彰夫1(1. 東北農研2. 京都大学3. 生物研)
- P118 *Brassica rapa* における小孢子胚形成能に関与する遺伝子領域の推定
○北柴大泰1・田口久美子1・稲葉清文1・横井修司2・高畑義人2・西尾剛1(1. 東北大院農学2. 岩手大学農学部)
- P119 イネの穂軸長に関するQTLのファインマッピング
☆安藤考紀1・保浦徳昇2・池田真由子2・石原亮太3・藤城靖子3・芦荻基行2・松岡信2・北野英己2・土井一行1(1. 名大院生命農学2. 名大生物機能開発利用研究センター3. 名大農)

- P120 コムギ品種Chinese Springの染色体欠失系統群を用いた種子根伸長角度の変異解析
☆森正彦・小柳敦史・Md EmdadulHaque・川口健太郎・安倍史高(独)農研機構作物研究所)
- P121 IR64染色体挿入系統群を用いた根長に関わるQTLの同定と特徴付け
☆小原実広1・石丸努1,2・藤田大輔2,3・小林伸哉3・福田善通1(1. 国際農研2. 国際稲研究所3. 作物研)
- P122 収穫指数の異なるコシヒカリとST1の交雑F2集団を用いた穂数に関するQTL解析
○保浦徳昇1・安藤孝紀2・藤城靖子3・石原亮太3・池田真由子1・松岡信1・土井一行2・北野英己1(1. 名大生物機能開発利用研究センター2. 名大院生命農学3. 名大農)
- P123 スギ高密度連鎖地図情報を利用した雄性不稔遺伝子近傍領域の連鎖地図の作成
☆森口喜成1・伊原徳子1・内山憲太郎1・上野真義1・二村典宏1・斎藤真己2・伊藤信治3・樋口有未3・松本麻子1・谷尚樹4・平英彰5・篠原健司1・津村義彦1(1. 森林総合研究所2. 富山森林研3. 新潟森林研4. 国際農研5. 元新潟大)
- P124 水稲新品種「富山黒75号」が有する玄米着色関連遺伝子のマッピング
☆前田寛明1・山口琢也1・表野元保1,2・寶田研1,3・村田和優1・蛸谷武志1(1. 富山県農林水産総合技術センター2. 富山県農産食品課3. 富山県新川農林振興センター)
- P125 ニホンナシ黒斑病原因遺伝子座のファインマッピングとBACコンティグの構築
○寺上伸吾1・足立嘉彦1・山根弘子2・呉健忠2・松本隆2・國久美由紀1・西谷千佳子1・齋藤寿広1・山本俊哉1(1. 農研機構果樹研2. 農業生物資源研究所)
- P126 アズキにおける遺伝的に不安定な矮性遺伝子座
○青山聡1・大西一光2・加藤清明2(1. 道総研上川農試2. 帯広畜産大)
- P127 マイクロアレイベースマーカー技術を用いたサトウキビ種間交配系統S3-19連鎖地図の構築
○西村哲1・榎宏征1・島田武彦1・木村達郎1・都築祥子1・服部太一朗2・石川葉子2・境垣内岳雄2・寺内方克2(1. トヨタ自動車(株)FP部 パイオラボ2. (独)九州沖縄農業研究センター パイオマス・資源作物開発チーム)
- P128 LAMP法を利用したDNAマーカー解析・品種識別の簡易迅速化
○岸根雅宏・奥西智哉(農研機構食総研)
- P129 イオンビーム照射によって作出された芳香シクラメン花色変異体の解析
☆秋田祐介1・北村智1・長谷純宏1・鳴海一成1・石坂宏2・近藤恵美子2・亀有直子2・中山真義3・谷川奈津3・森田裕将3,4・田中淳1(1. 原子力機構・量子ビーム2. 埼玉農総研セ園研3. 農研機構花き研4. 香川大農学部)
- P130 SSRマーカーによる8倍体イチゴ品種・系統の識別と親子鑑定への利用の可能性
○中澤佳子1・若樹睦子1・飯村一成1・天谷正行2(1. 栃木県農業試験場2. 栃木県経営技術課)
- P131 栽培きのこシイタケのドラフトゲノムシーケンスを用いたSSRマーカーの単離
江頭知奈美1・花川容子1・奥田康仁1・○松本晃幸1・福政幸隆2(1. 鳥取大農2. 菌茸研)
- P132 次世代シーケンサーを用いたニガウリ雌性型形質DNAマーカーの探索
○松村英生1・宮城徳道2・谷合直樹2・太郎良和彦2・首藤亜耶乃2・浦崎直也2(1. 信大遺伝子2. 沖縄県農研セ)
- P133 コムギ形質転換効率に関係する遺伝子のマイクロアレイを用いた探索
○安倍史高・森正彦・Md EmdadulHaque・中村信吾・川口健太郎・小柳敦史(独)農研機構作物研究所)
- P134 イネ雌性不稔に関わる遺伝子発現プロファイリング
☆久保貴彦1,2・藤田雅文1・倉田のり1,2(1. 遺伝研2. 総研大生命科学)
- P135 高速シーケンサーを用いた大規模遺伝子発現情報に基づく遺伝子探索手法の開発
☆五十嵐香理1・阿部伶奈1・長山大志1・染谷拓海1・千葉洋2・多田欣史2・清水顕史3・矢野健太郎1(1. 明治大・農・バイオインフォマティクス2. 東北化学薬品(株)3. 滋賀県立大・環境科学)
- P136 パンコムギにおけるクラスB, C, D MADSボックス遺伝子のゲノム特異的な同祖遺伝子発現パターン
☆田中紘子1・加藤啓介1・宅見薫雄2・村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 神戸大学院農)
- P137 コムギrDNAプローブを用いたチャ(*Camellia sinensis*)とツバキ(*C. japonica*)の染色体FISHの試み
☆古川一実1・高橋映莉乃1・T. Schwarzacher2(1. 沼津高専物質工学科2. レスター大学)
- P138 メドウフェスクベレニアルライグラス種間差次的発現遺伝子の同定とその種間雑種における発現解析
○田村健一1・田瀬和浩1・眞田康治1・米丸淳一2(1. 農研機構 北海道農業研究センター2. 農業生物資源研究所)
- P139 水稻の苗立ち性に関与するQTL 'qESS11b' および 'qLTG3-1' の作用評価
☆山口琢也1・表野元保2・伊山幸秀1・森川真紀子3・村田和優1・蛸谷武志1(1. 富山県農林水産総合研究センター2. 富山県農産食品課3. 富山県高岡農林振興センター)
- P140 SSRマーカーとトランスポゾンマーカーを利用したラッカセイ高密度連鎖地図の作成とQTL解析への利用
○白澤健太1・P. Koilkonda1・青木考1・平川英樹1・田畑哲之1・長谷川誠2・清島浩之2・鈴木茂2・桑田主税2・内藤嘉磯3・久保山勉4・磯部祥子1(1. かずさDNA研2. 千葉農林総研3. 三菱化学メディエンス4. 茨城大)
- P141 SSRマーカーによるイチゴの統合連鎖地図作成
○磯部祥子1・前田ふみ2・橋爪不二夫3・辻明子3・石川正美2・森利樹3・平川英樹1・白澤健太1・佐藤修正1・田畑哲之1(1. かずさDNA研究所2. 千葉県農林総合研3. 三重県農研)
- P142 栽培イネ由来SNPの野生稻解析への適用性
○江花薫子1・平林秀介2・西川智太郎1・河瀬真琴1(1. 生物研2. 農研機構作物研)
- P143 異常分けつを示す3倍体雑種コムギにおけるクラウン組織のマイクロアレイ解析
☆松田龍典・M. Iehisa・中野裕樹・宅見薫雄(神戸大農学)
- P144 合成コムギを用いた異質倍数化過程における遺伝子発現プロファイル
柴田洋和・☆川浦香奈子・岸井正浩・高橋宏瑛・荻原保成(横浜市大)
- P145 フェノーム手法によるイネ根の環境応答機構の解析
○土生芳樹(生物研先端ゲノム)

講演会場（宇都宮大学峰キャンパス）へのアクセス

JR 宇都宮駅・宇都宮市までの交通案内



■東北新幹線・JR 宇都宮線（東北本線）

○東北新幹線

東京駅より約 50 分

仙台駅より約 1 時間 20 分

新潟駅より約 3 時間（上越・東北新幹線）

○JR 宇都宮線（東北本線）

上野駅より約 1 時間 30 分（快速ラビット）、約 2 時間（普通列車）

横浜駅より約 2 時間 10 分（湘南新宿ライン）

■東武日光・宇都宮線

○浅草より約 1 時間 40 分（浅草～新栃木は特急・急行）☆問い合わせ：東武宇都宮駅（028-633-2054）

■自動車

○東北自動車道

東京方面より（130Km）

鹿沼 IC 下車

東京方面より（130Km）

宇都宮上三川 IC 下車（北関東自動車道利用）

東北方面より（230Km）

宇都宮 IC 下車

北陸方面より（255Km）

宇都宮 IC 下車（常盤自動車道経由）

水戸方面より（113Km）

宇都宮上三川 IC 下車（北関東自動車道利用）

■長距離バス

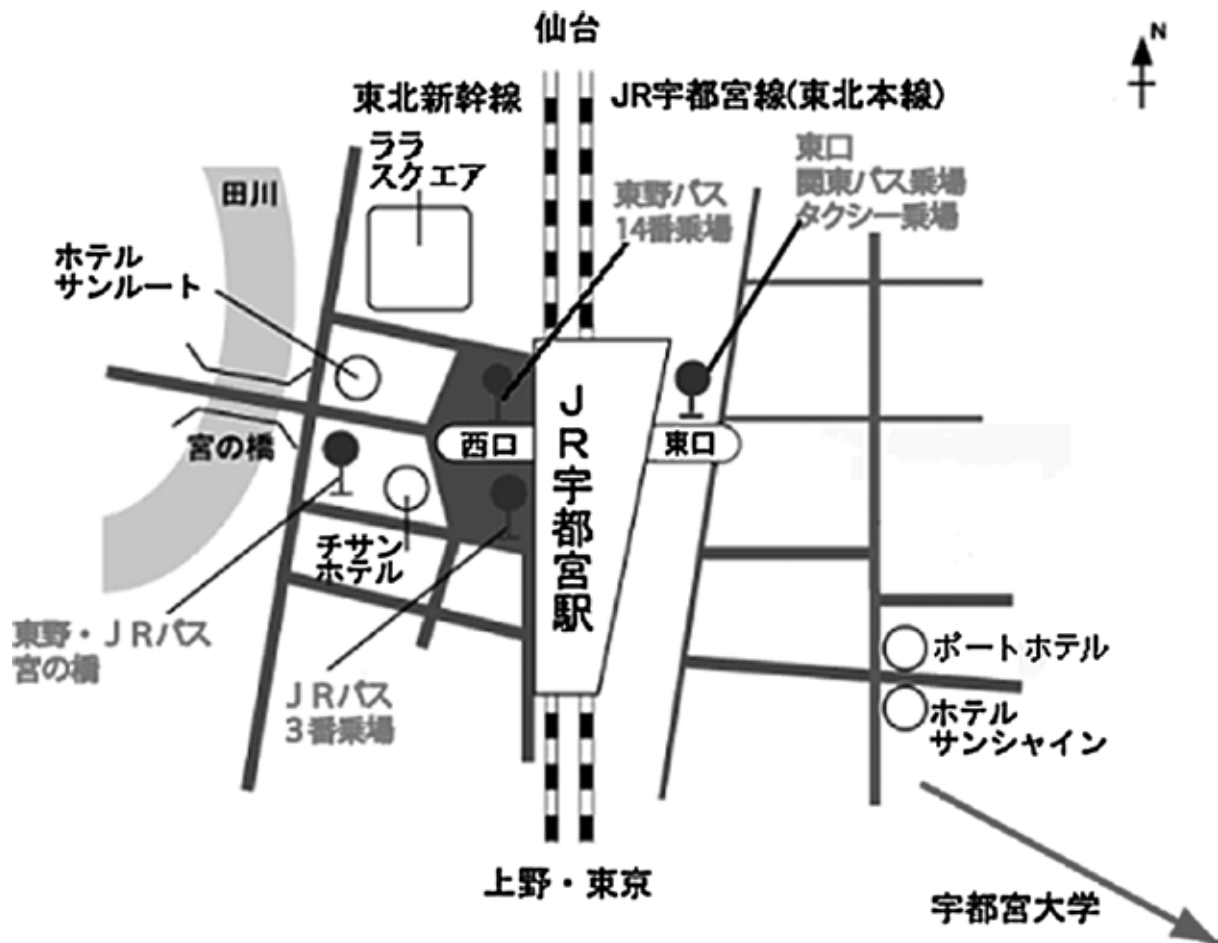
○成田より約 3 時間： 関東自動車（1 日 10 便） ☆問い合わせ：関東自動車（028-638-1730）

○羽田より約 3 時間： 関東自動車（1 日 7 便） ☆問い合わせ：関東自動車（028-639-6700）

○京都・大坂より約 8・9 時間： 関東バス ☆問い合わせ：関東自動車（028-632-0228）

宇都宮大学峰キャンパスまでの交通案内

宇都宮大学峰キャンパスへのアクセスについては、宇都宮大学ホームページ <http://www.utsunomiya-u.ac.jp> のアクセスマップを併せてご覧ください。



■JR 宇都宮駅から

- ・ JR バス：清原台団地（きよはらだいだんち）、清原球場、祖母井（うばがい）、茂木（もてぎ）行など

JR 宇都宮駅西口バス乗り場 3 番から乗車約 15 分「宇大前」下車（1 時間に 1～3 本程度です。）

- ・ 東野（とうや）バス：真岡、益子、海星学院、清原球場行など

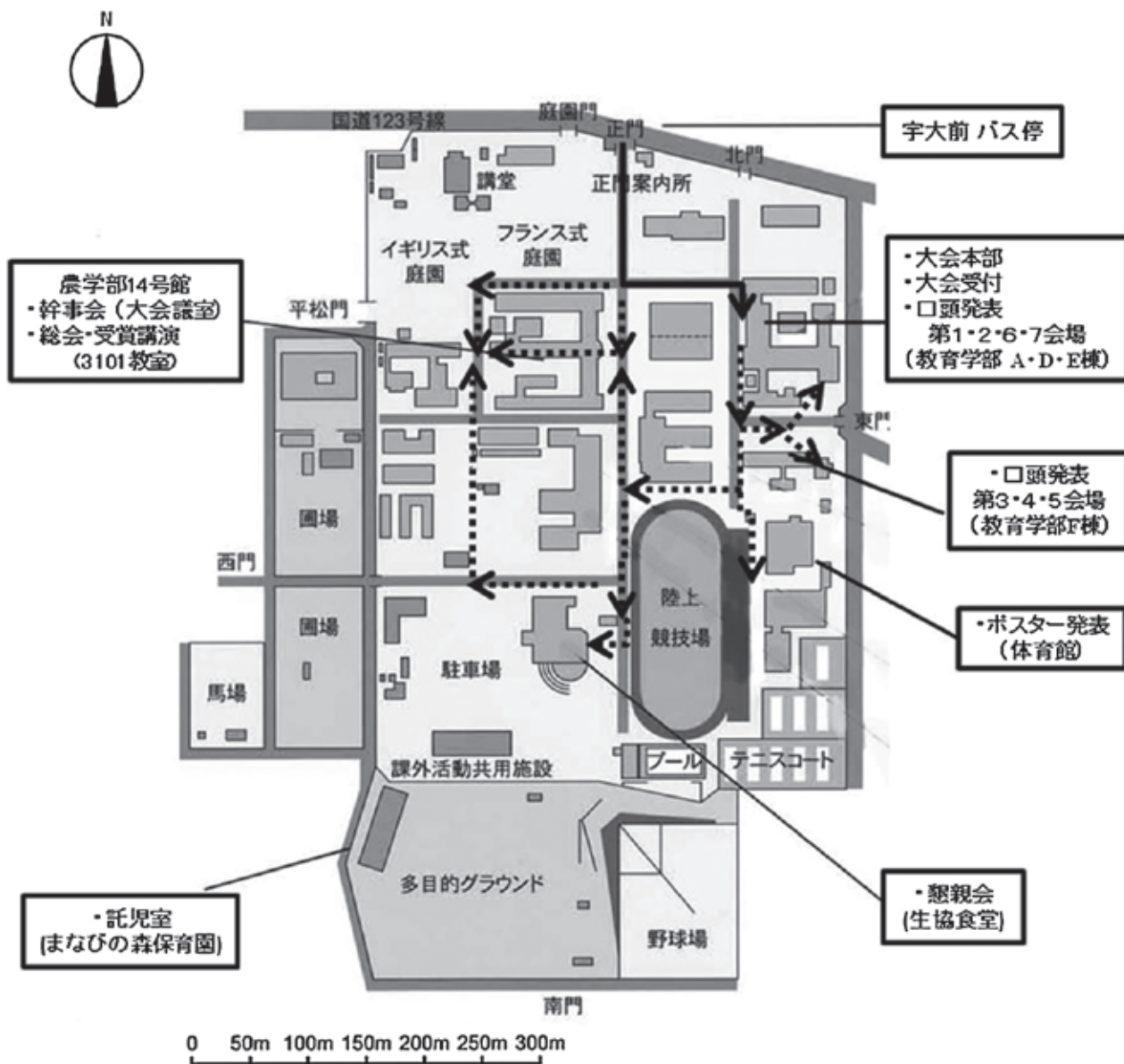
JR 宇都宮駅西口バス乗り場 14 番から乗車約 15 分「宇大前」下車（10 分おきぐらいに「宇大前」経由のバスが来ます。ただし、「宇大前」を通らないものがありますので、ご注意ください。）

- ・ 関東バス：宇都宮駅東循環バス（左回り）

JR 宇都宮駅東口バス乗り場から乗車約 10 分「宇都宮大学前」下車
（1 時間に 1 本程度ですのでご注意ください。）

- ・ タクシー：JR 宇都宮駅西口乗り場から約 15 分、JR 宇都宮駅東口乗り場から約 10 分
- ・ 徒歩 25 分（JR 宇都宮駅から約 2.2Km）

幹事会・総会・講演会場案内図 (宇都宮大学峰キャンパス)

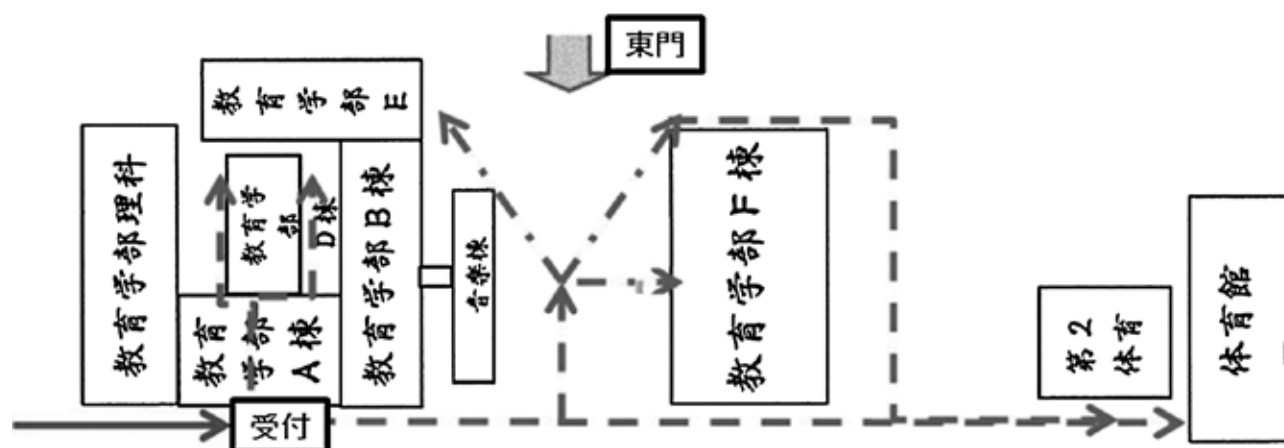


◎学生食堂の営業について

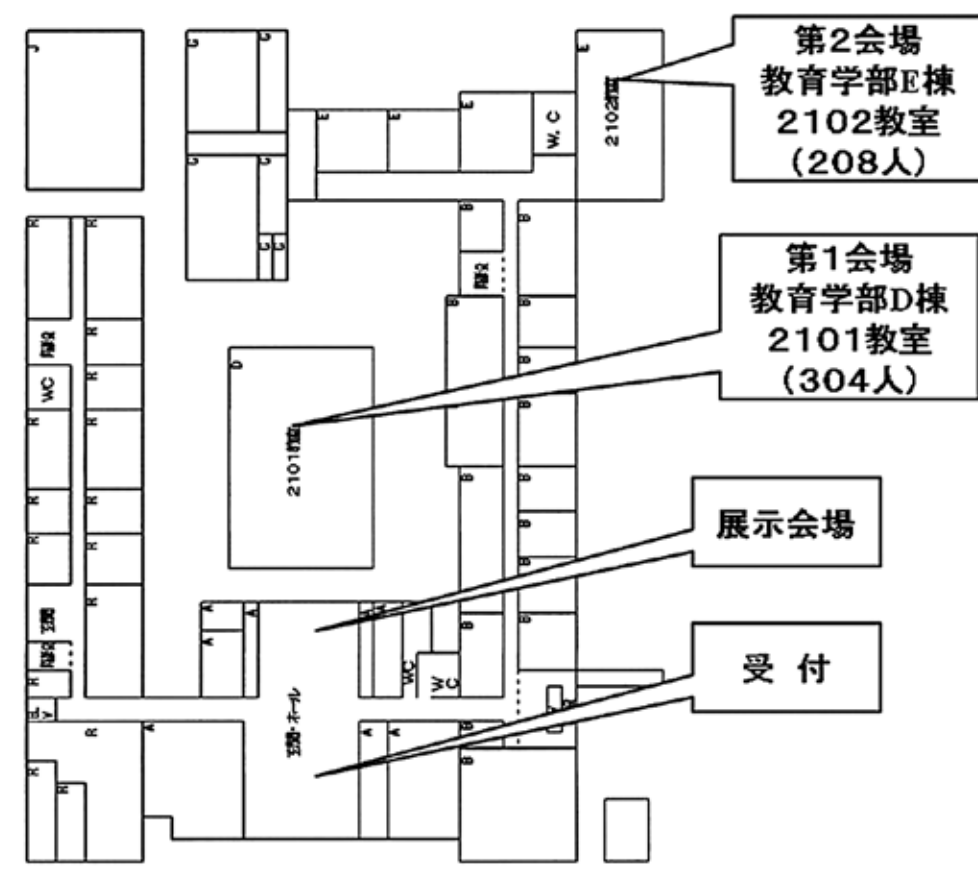
大会期間中 3 月 29 日 (木) は、森林学会の研究集会も開催されますので、学生食堂の席数に限りがあり、時間がかかることが予想されます。ご了承ください。混雑を防ぐために弁当の販売を実施致しますのでご利用ください。

【お詫び】 大学内の事情により、育種学研究第 13 巻 4 号にてご案内致しました講演会場の案内図と異なりますのでご注意ください。

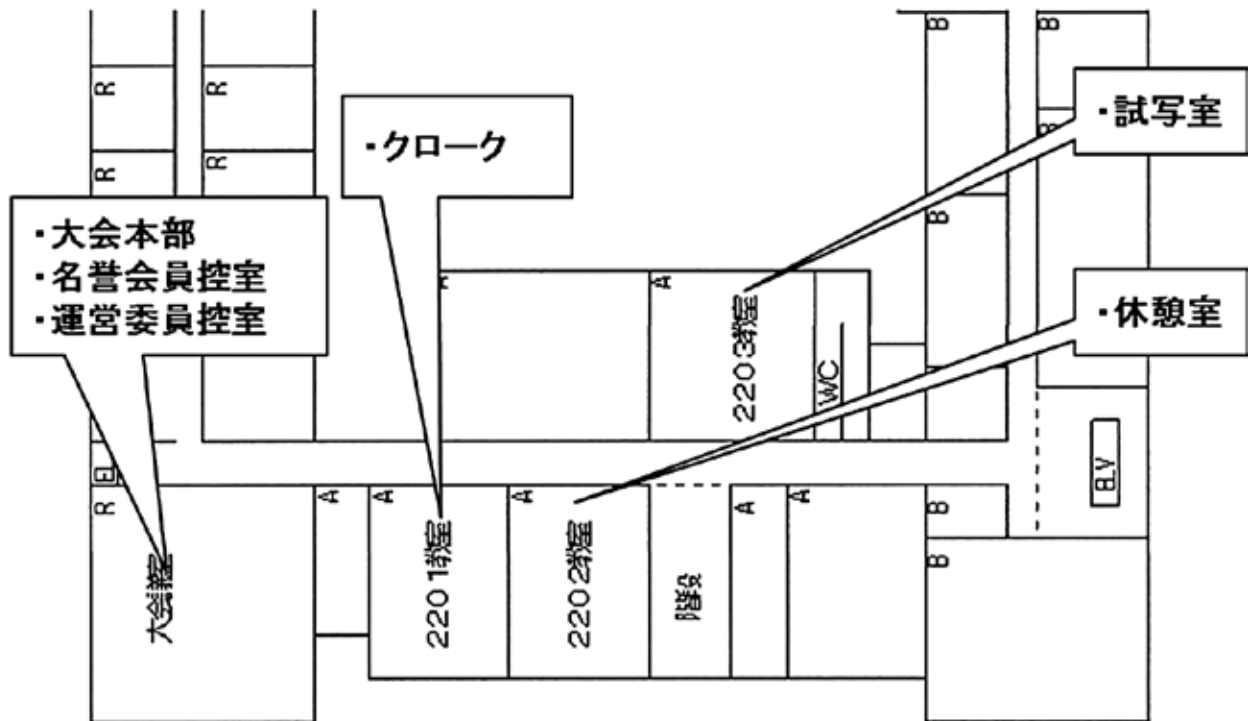
講演会場順路(教育学部・体育館)



講演会場案内図 (教育学部A・D・E棟1F)



講演会場案内図（教育学部A・D・E棟 2F）



講演会場案内図（教育学部A・D・E棟 3F）

